

令和3年度第1回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会

別冊資料

○伊勢志摩地域小規模校の総括的な検証について

- (1) 鳥羽高等学校
- (2) 志摩高等学校
- (3) 水産高等学校
- (4) 南伊勢高等学校南勢校舎
- (5) 南伊勢高等学校度会校舎

県立高等学校活性化計画にかかる小規模校活性化の総括的な検証について

現在の「県立高等学校活性化計画」（平成 29 年度から 5 年間）に基づき、1 学年 2 ～ 3 学級規模の高等学校については、地方創生、地域の担い手育成の視点を大切にしながら、学校ごとに活性化協議会を設置して地元市町、産業界等の地域関係者と具体的な方策を協議し、地域と一体となって活性化の取組を推進してきました。計画の最終年度である今年度の学校別協議会では、これまで 4 年間の活性化の取組と成果を振り返りながら総括的な検証を行いました。

1. 「県立高等学校活性化計画」の記載事項

高等学校の規模と配置＜抜粋＞

（望ましい学校規模）

- 高等学校は社会への接続の面などで社会性の育成が重要となること、学習ニーズに応じた幅広い教科・科目の開設、学校行事や部活動の充実のためには一定の規模が必要となることなどから、望ましい学校規模については、引き続き 1 学年 3 学級から 8 学級とする。

（1 学年 2 学級以下の高等学校）

- 1 学年 2 学級の高等学校は、改めて設置の意義を検証しつつ、地域の状況、学校・学科の特色、生徒の通学実態等をふまえ、特に存続が必要と考えられる場合には、以下のように活性化に取り組む。
 - ア 学校ごとに、市町関係者、地元産業界、小中学校および高等学校の保護者・教員等で構成する協議会を設置し、学校や地域等の関係者が役割を分担しながら、それぞれが活性化の具体的方策を検討したうえで、計画を策定し一体となって実施していくことで活性化に取り組む。
 - イ 活性化の取組期間は、3 年間を原則とし、入学者の状況や生徒の進路実現の状況、活性化の取組など、その活動と成果について毎年度検証を行い、3 年経過後に、その後の方向性を検討する。なお、活性化に係る取組期間中に、大幅な欠員が生じた場合には、3 年間の活性化の取組を継続しつつ、地域の中学校卒業者数の見込み等をふまえ、必要に応じて学級減を行うこととする。
 - ウ 3 年間の取組期間が経過した後、2 学級規模を維持している学校は、本活性化計画の期間中、引き続き活性化に取り組むこととする。また、1 学級規模となった学校については、取組期間 3 年目を含め 2 年連続して入学者数が定員の 3 分の 2 に満たない場合には、生徒にとって望ましい教育環境を整備する観点から、統廃合や設置形態の変更など、生徒の学びを保障するためのあらゆる可能性について協議する。
活性化計画最終年度の平成 33 年度に、総括的な検証を行い、その後のあり方を改めて検討することとする。

- 1 学年 2 学級の高等学校のうち、地域の協力による活性化の取組が困難な場合や地域の状況、学校・学科の特色、生徒の通学実態等を考慮しても、近隣の高等学校との統廃合や分校化がよりよい教育環境を維持するうえで望ましいと考えられる場合には、統廃合等を視野に入れて活性化に係る協議を行う。

2. 総括的な検証

各学校別協議会での検証項目は下記のとおりです。

(総括的な検証における検証項目)

- ① 入学者の状況
- ② 生徒の進路実現の状況
- ③ 活性化の取組

3. 今後について

今回の検証については、各地域協議会でも共有するとともに、今後の地域の高校のあり方の検討や次期活性化計画の策定に向けて、教育改革推進会議の審議等につなげていきます。

鳥羽高校 活性化取組の総括的な検証

鳥羽高校は鳥羽市唯一の高等学校として、「観光ビジネス」「スポーツ健康」「総合福祉」「文理進学」の系列を持つ総合学科の特色を活かし、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動を展開して、地域と連携・協働し、地域とともにある学校を目指して高校の魅力向上に努めてきました。

鳥羽高校が所在する鳥羽市では、伊勢市方面への電車の利便性が比較的高いこともあり、伊勢市内の高校へ進学する生徒が多くなっている状況です。鳥羽高校へは津市から志摩市までの広範囲から、主に基礎学力の定着を課題とする生徒が通学しており、近年の入学者において、鳥羽市出身者の割合が低下し、伊勢市出身者が一番高い割合を占めています。

今後の鳥羽高校の活性化に向けた入学者増のためには、鳥羽市内中学校卒業生数の減少を考慮すると、鳥羽市内中学校から鳥羽高校への進学者の割合を増やすとともに、広域からの入学生の増加も必要です。

こうした状況の中、鳥羽高校は

(1) 【基礎学力の向上】

希望する進路実現に必要な基礎学力を身に付け、生徒一人ひとりが自信や自己肯定感を持てるよう、教育活動・環境整備を推進する。

(2) 【社会性の育成・地域からの信頼】

生徒と教職員が学校に誇りを持ち、地域社会を支える若者が育ち合う学校として認められるよう、高校生としてふさわしい身だしなみや、挨拶をはじめとした社会性を備えた生徒を育てる。卒業後も地域の企業や地域行事で活躍できる人材を育成する。

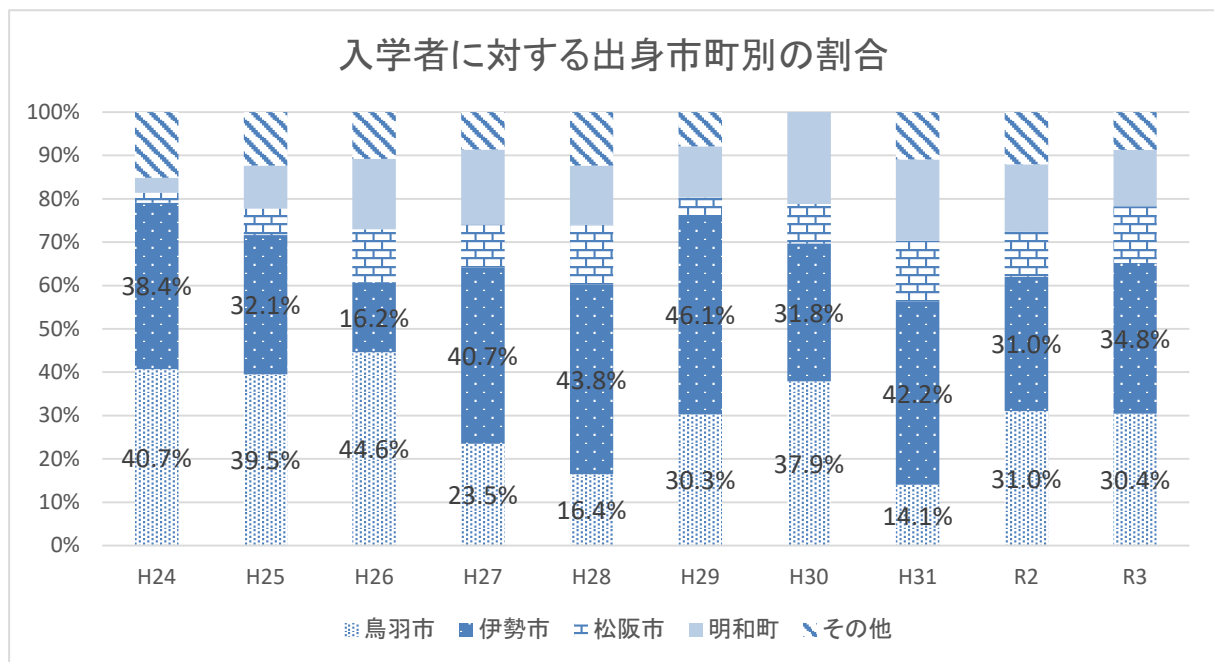
(3) 【特色ある教育活動】

総合学科の枠組みと、観光などの地域資源を活用した学習を通じて、それぞれが地域に役立つ人材であることを実感できる実践的な教育を推進し、地域で活躍できる力を育てる。

(4) 【他校種連携・地域行事への参画】

在校生が地域行事等で活動する姿やその発信を通じて、小中学生等や地域から親しまれ、信頼される学校づくりを推進する。

といった4つの方向性のもと、活性化の取組を進めてきました。



活性化の取組

(1) 基礎学力の向上にかかる取組

- 基礎学力の向上に向けて、産業社会と人間、総合的な学習（探究）の時間で小テストなどを取り入れ、学びなおしに力を入れています。また、到達度テストを実施し、4月実施から1月実施にむけてさらに正答率が高まるよう、朝学の時間や個人に応じた補習を行い、基礎学力の定着を目指しましたが、目標には達しませんでした。

到達度テスト実施（4月、1月）の比較による

H29年度 基礎力診断テスト D3 生徒が4月から10%減目標とする。

D3 生徒4月と1月の比較で4%減（未達成）

H30年度 基礎力診断テスト D3 生徒全体の50%未満を目標とする。

D3 生徒1月にD3の生徒 74%（未達成）

R元年度 到達度テスト正答率25%未満の項目を半減する。

4月正答率25%未満が23.8%→1月正答率25%未満が21.3%（未達成）

R2年度 到達度テスト正答率25%未満の項目を半減する。

4月正答率25%未満が25.7%→1月正答率25%未満が25.9%（未達成）

R3年度 到達度テスト正答率25%未満の項目を半減する。

4月正答率25%未満が22.5%→1月 %

- 校内では①地域の中学校と連携した公開研究授業を実施するとともに、②授業改善に関する校外の教員研修への参加等を推進してきました。

①については、公開授業週間に鳥羽東中学校と授業見学を行い、公開授業期間中に講師の方も招き、研究授業を行いました。（平成 29、30 年）

※令和元年は講師と都合が合わず、令和 2 年はコロナ禍で講師は来校せず研究授業は実施できませんでした。

②については、令和 2 年度は県主催の「授業改善パートナーズ」等に参加しました。
(教員の研修について)

年度	H29	H30	R1	R2
①公開研究授業	2 回	2 回	0 回	0 回
②校外研修参加者数 (目標指標 5 人以上)	5 名	7 名	6 名	1 名

- その他の取組

- ・令和 2 年度全商英語検定 4 級（9 月 6 日実施）1 学年全員受験 59 名中 29 名合格
- ・平成 30 年度より同窓会の協力を得て、スポーツ健康系列でドローン講習会を年 6 回行いました。

(2) 社会性の育成・地域からの信頼にかかる取組

- 生徒会・生徒主体の活動として、あいさつ活動(平成 30 年度より 2 回程度)や清掃活動(年 2 回)等、生徒会の主体的な取組が実施されました。地域防犯・交通安全ボランティア「鳥羽レンジャー」は平成 30 年 10 月に発足し、学期に 1 回程度実施しています。

年度	H28	H29	H30	R1	R2
生徒会主体の取組回数	2 回	2 回	9 回	9 回	4 回

(3) 特色ある教育活動にかかる取組

- 地域の協力を得て地域課題解決型学習を進めました。
- ・1 年生全員が「産業社会と人間」の授業でフィールドワーク（答志島等）や職業人インタビュー等を行うことで、地域学習の充実を図りました。
 - ・総合学科の系列選択において、文理進学系列の 2 年生では、「鳥羽学」の授業において、地域の課題解決のための方策を考え取り組んで来ました。昨年度の「海女の VR 映像」の作成は、鳥羽の市役所・地元企業と連携し、産学官で取り組んだプロジェクトとして注目されました。

(地域課題解決型学習)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
鳥羽市内へのフィールドワーク	一回	12回	一回	16回	9回
校内外での発表会の実施 (目標指標5回)	一回	8回	8回	10回	2回

- 国際観光文化都市に位置する鳥羽市の学校国際交流の充実を図りました。
 - ・英会話に関する学習機会（平成29年から同窓会で企画）平成29、30、令和元年まで実施し、令和2年はコロナで中止しました。
 - ・台湾、中国等との交流事業を実施（令和元年に2回実施、令和2年度は中止）
 - ・駐日クロアチア大使訪問事前学習（令和2年2回実施）
 - ・駐日クロアチア大使講演会など3回の国際交流を実施（令和2年度）

(4) 他校種連携・地域行事への参画にかかる取組

- 地域の支援を得て、民間の人的・物的資源を活用したデュアルシステムを確立して、地域学習を拡充し、定着させてきました。

デュアルシステムは平成29年度から実施しており、専門高校生の実践力の向上、勤労観・職業観の育成を目的として、学校での座学と企業での実習を組み合わせで行っています。3年生観光ビジネス系列および総合福祉系列生徒は毎週金曜日、年間20回程度、学校には登校せずに直接企業に出向き、事業所職員の指導の下、実習を行っています。

(デュアルシステム)

年度	H29	H30	R1	R2	R3
デュアルシステム対象生徒数	24人	36人	31人	0人	30人
受け入れ企業数	14	20	17	15	20

※令和2年度はコロナ禍のため、中止しました。

- 鳥羽市内の幼稚園・小学校との連携・交流を進めてきました。

年度	H28	H29	H30	R1	R2
鳥羽市内幼稚園・小学校との連携	2回	2回	2回	3回	0回

- ・令和2年度は小学生対象に親子科学体験教室を実施。安楽島小学校への英語出前授業は中止としました。
- ・幼稚園との連携として、避難訓練や看板作成に取り組みました。

- 地域へPRするために、文化祭・総合学科発表会等の学校行事への参加機会を設けたり、高校施設の開放・活用によって市民と高校生徒の交流促進を図り、社会に開かれた学校をめざしてきました。また、フェンシング顧問を地元中学校に派遣し、フェンシング啓発活動を行ったり、赤崎祭り、鳥羽市民文化祭、鳥羽駅前わかめ振る舞い、フェンシング市民大会、たこあげ大会等の地域行事に参加しました。

(学校PR等)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
地域住民に公開している学校行事	一回	2回	2回	2回	2回
高校施設の地域への開放	544回	559回	446回	441回	230回
地域行事への参加		6回	8回	8回	6回

- 平成27年10月より地域研究サークル「とばっこくらぶ」を立ち上げ、地域活性化の取組を推進してきました。

主な内容としては、以下のようなものがあります。

- ・観光甲子園全国大会出場 銅賞（平成29年）、審査員長特別賞（H30）
- ・平成29年11月、鳥羽市より市制63年にあたり観光振興に寄与したことにより鳥羽市長より「市民功労者表彰」感謝状受賞
- ・地域の大人の学習会「地球塾」参加しました。（平成29、30、令和元年）
- ・鳥羽市定期船課と協働して観光プランを作成中。（令和元年、令和2年）
- ・宮城県松島高等学校などの他府県高校と、鳥羽市を学び場として地域間交流を図りました。
- ・鳥羽市観光課と連携し、所属部員が「小学生の海女文化ガイド」、「鳥羽市在住の画家 おおた はるか さん」の個展開催の準備の手伝いに行きました。
- ・とばっこくらぶは、平日2回、休日4回、月平均20回活動を行っています。

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
とばっこくらぶ部員数	6人	9人	10人	8人	8人	9人

生徒の進路実現

- 鳥羽高校は就職者が6～7割、2割強が専門学校に進学しています。この活性化期間中では、大学・短大に進学する割合が少し高くなったものの、大きな変化はありませんでした。

卒業年度	卒業者総数	進学					就職	その他
		大学	短大	専攻科 高専等	専門学校	その他		
H28	66	1	2	0	17	0	42	4
		1.5%	3.0%	0.0%	25.8%	0.0%	63.6%	6.1%
H29	68	3	2	0	14	0	47	2
		4.4%	2.9%	0.0%	20.6%	0.0%	69.1%	2.9%
H30	63	5	0	0	9	0	48	1
		7.9%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	76.2%	1.6%
R1	65	6	1	0	16	0	39	3
		9.2%	1.5%	0.0%	24.6%	0.0%	60.0%	4.6%
R2	56	4	3	0	12	0	37	0
		7.1%	5.4%	0.0%	21.4%	0.0%	66.1%	0.0%

- 鳥羽学やデュアルシステム等の地域学習に取り組みにより、卒業後も地域で活躍できる人材を育成することを目指した活性化の取組としていましたが、鳥羽市の観光関連企業の就職には結びつきませんでした。

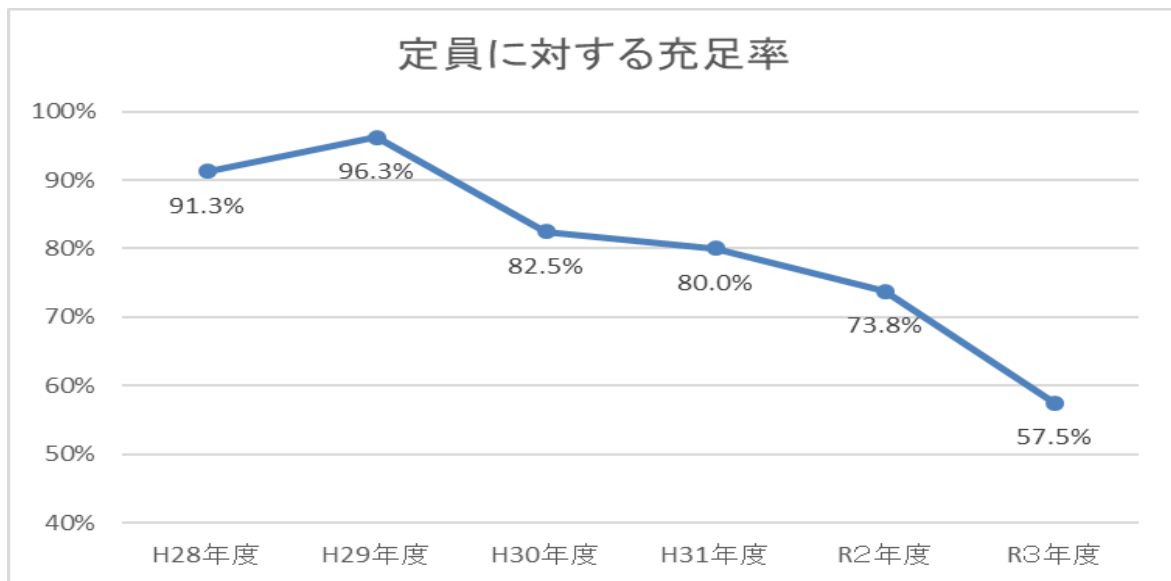
卒業年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
地元企業就職者数 ／就職者数	13/57	8/39	7/41	4/42	6/47	0/48	7/39	3/37



入学者の状況

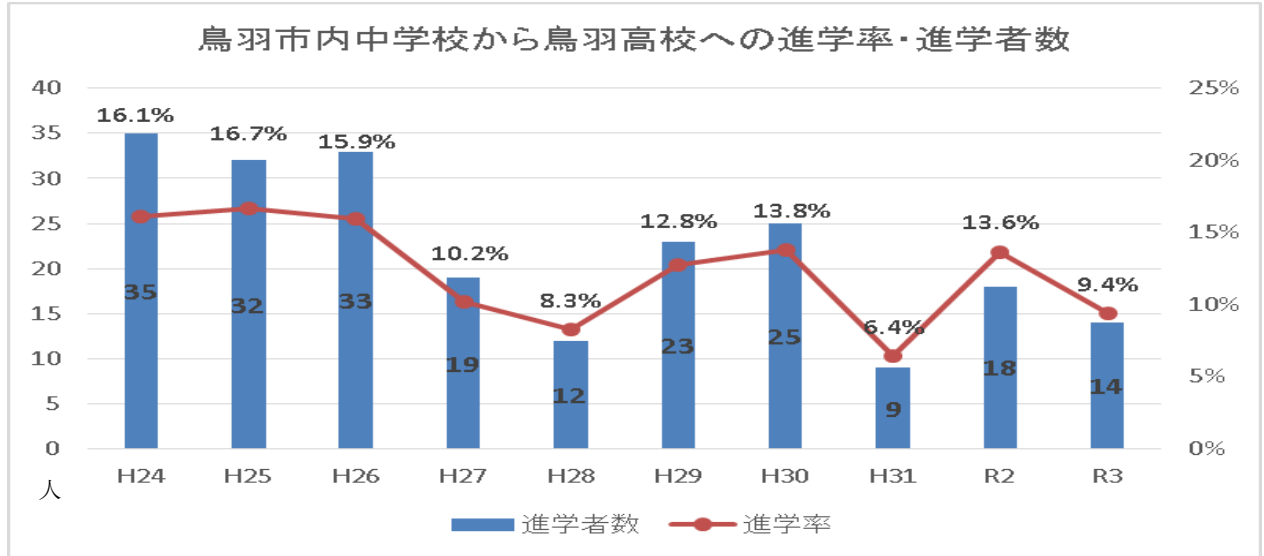
○ 現活性化計画中には、入学者が充足せず、欠員が増えるという結果でした。

入学年度	入学定員	12月調査	入学者選抜(志願者/募集定員)			入学者数	※うち県外 中学出身者	欠員
			前期選抜	後期選抜	再募集			
H28	80	42	38 / 40	17 / 18	18 / 20	73	0	7
H29	80	59	54 / 40	25 / 38	12 / 15	77	0	3
H30	80	57	59 / 40	17 / 36	6 / 20	66	0	14
H31	80	43	40 / 40	13 / 42	13 / 29	64	0	16
R2	80	46	48 / 40	14 / 36	5 / 26	59	1	21
R3	80	38	37 / 40	4 / 45	8 / 41	46	0	34



【鳥羽高校】

○ 平成 26 年度までは鳥羽市内中学校からの鳥羽高校への進学率は 16%台を維持してきましたが、平成 28 年度には 10%を下回り、一時回復するものの令和 3 年度には 9.4%となりました。



○ 鳥羽市内の中学生が伊勢市内の高校へ進学する割合は 6 割程度と高く、令和 3 年度にはこの 10 年間で一番高く 73.8%になりました。

【鳥羽市内中学校卒業者の進学状況の推移】

鳥羽市の状況

入学年度	卒業 者数	全日制 高校・ 高専 進 学者数	鳥羽		商船	志摩	水産	南伊勢		県立					私立		伊勢市内高校		管外 その 他
			進学者数	進学率				度会	南勢	山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学	進学者数	進学率	
24年度	217	200	35	16.1%	13	4	1	0	0	24	17	20	14	24	16	11	126	58.1%	38
25年度	192	178	32	16.7%	13	2	2	0	0	14	17	19	11	20	18	15	114	59.4%	29
26年度	207	197	33	15.9%	13	5	3	0	0	18	16	14	15	25	26	18	132	63.8%	21
27年度	187	169	19	10.2%	6	7	4	0	0	20	13	20	14	22	26	10	125	66.8%	26
28年度	145	125	12	8.3%	10	0	2	0	0	18	11	10	8	16	21	12	96	66.2%	25
29年度	180	173	23	12.8%	9	7	4	0	0	16	18	11	16	27	19	8	115	63.9%	22
30年度	181	170	25	13.8%	8	6	7	0	0	13	12	8	23	20	21	7	104	57.5%	31
元年度	140	135	9	6.4%	10	10	6	0	0	21	14	11	10	14	19	7	96	68.6%	9
2年度	132	129	18	13.6%	10	1	3	0	0	19	11	5	11	11	14	4	75	56.8%	25
3年度	149	142	14	9.4%	6	0	2	0	0	18	16	13	10	20	18	15	110	73.8%	17

*管外とは伊勢志摩地域の全日制的県立(10校)と私立(2校)と高専(1校)以外の高校・高専への進学者数
その他とは特別支援・定時制・通信制・各種学校への進学及び就職等の数

- 鳥羽市を含む伊勢志摩地域の中学校卒業生数は、今後も減少傾向が続き、鳥羽市では、現在小学校3年生が中学校を卒業する令和10年度には、100人を下回ることが見込まれています。

【伊勢志摩地域中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）令和3年5月1日】

		H 15.3	H 30.3	H 31.3	R 2.3	R 3.3	R 4.3	R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3
		卒業	卒業	卒業	卒業	卒業	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
伊勢市	卒業生数	1,510	1,196	1,170	1,087	1,057	1,083	1,126	981	1,034	1,000	1,029	988	899	969
	前年度対比			-26	-83	-30	26	43	-145	53	-34	29	-41	-89	70
	R3.3対比						26	69	-76	-23	-57	-28	-69	-158	-88
度会郡	卒業生数	552	383	369	358	308	315	336	313	322	292	303	265	268	277
	前年度対比			-14	-11	-50	7	21	-23	9	-30	11	-38	3	9
	R3.3対比						7	28	5	14	-16	-5	-43	-40	-31
鳥羽市	卒業生数	294	181	140	132	149	143	122	107	119	111	107	98	114	86
	前年度対比			-41	-8	17	-6	-21	-15	12	-8	-4	-9	16	-28
	R3.3対比						-6	-27	-42	-30	-38	-42	-51	-35	-63
志摩市	卒業生数	653	432	400	389	313	338	343	336	293	320	298	247	282	280
	前年度対比			-32	-11	-76	25	5	-7	-43	27	-22	-51	35	-2
	R3.3対比						25	30	23	-20	7	-15	-66	-31	-33
小計	卒業生数	3,009	2,192	2,079	1,966	1,827	1,879	1,927	1,737	1,768	1,723	1,737	1,598	1,563	1,612
	前年度対比			-113	-113	-139	52	48	-190	31	-45	14	-139	-35	49
	R3.3対比						52	100	-90	-59	-104	-90	-229	-264	-215
県内合計	卒業生数	20,468	17,458	16,811	16,489	15,777	16,212	16,046	15,871	15,549	15,405	15,220	14,700	14,343	14,077
	前年度対比			-647	-322	-712	435	-166	-175	-322	-144	-185	-520	-357	-266
	R3.3対比						435	269	94	-228	-372	-557	-1,077	-1,434	-1,700

- 鳥羽高校には近隣の伊勢市、志摩市出身の生徒が通学しており、鳥羽市からの生徒の減少とともに、鳥羽市以外の生徒の人数が高くなっています。近年は明和町や松阪市から通学する生徒も多い状況です。

【鳥羽高校への入学者数の市町別推移】

	鳥羽市	伊勢市	玉城町	志摩市	松阪市	明和町	その他	入学者
H24年度入学生	35	33	4	4	2	3	5	86
H25年度入学生	32	26	3	6	5	8	1	81
H26年度入学生	33	12	4	4	9	12	0	74
H27年度入学生	19	33	3	1	8	14	3	81
H28年度入学生	12	32	6	0	10	10	3	73
H29年度入学生	23	35	0	4	3	9	2	76
H30年度入学生	25	21	0	0	6	14	0	66
H31年度入学生	9	27	3	4	9	12	0	64
R2年度入学生	18	18	2	3	6	9	2	58
R3年度入学生	14	16	3	0	6	6	1	46

- 平成31年度入学者選抜から「保護者の転住を伴わない県外からの入学志願」制度を導入しています。令和3年度現在、実績はありません。

協議のまとめ

鳥羽高校は、鳥羽市唯一の高等学校として、また南勢地区唯一の総合学科高等学校として「観光ビジネス」「スポーツ健康」「総合福祉」「文理進学」の4つの系列を展開して、鳥羽市や地域の方々の支援を得ることで、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動を進めてきました。

文理進学系列の2年生では、系列選択科目「鳥羽学」において、海女文化を発信するVR制作等の地域課題解決型学習に取り組んできました。また観光ビジネス系列および総合福祉系列の3年生では、毎週、地域の事業所で、終日働くことを通して自分の生き方・在り方などを考える「デュアルシステム」にも積極的に取り組んできました。さらに、小中学校との連携・交流、地域行事へ参加し、地域社会をささえる若者が育ち合う学校をめざして教育活動を推進してきました。

希望する進路実現に向けては、一人ひとりが必要な基礎学力を身につけ、自信や自己肯定感を持てるよう、スタディサプリを利用した個別最適な学びを推進しました。

地域の少子化も急激に進行する中、入学者数を確保するために鳥羽高校の活性化の取組みをホームページ・新聞・広報などを通じて情報発信してきました。また、生徒の学校生活も落ち着いてきており、鳥羽高校へのイメージは以前より改善しつつあるものの、地域の中学生は伊勢市内への志向が強いことから、鳥羽市出身者の割合が低下し、入学者の増加にはつながらず、定員は未充足の状況が続いています。なお、入学者全体では、伊勢市出身者や、近年は明和町や松阪市から進学する生徒の割合が増えてきている状況となっています。

総合学科は多様な生徒の学びに対応し、様々な体験や実習を通して各生徒の将来の生き方・在り方を考えさせることが魅力の一つですが、鳥羽高校は現在、27人の教員で運営をしており、幅広い選択を可能とする教育課程を編成することが難しくなっています。生徒たちにおいても、互いに認め合い、協力し合い、切磋琢磨することで思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育むことを目指していますが、今後更に生徒数が減少することにより、そのような学びを進めていくことが難しい状況も考えられます。

また、部活動においては、顧問や生徒数が減り、チームとしての活動が制限される競技もでてきているのが現状です。

少子化がさらに進む中においても、地域全体で子供たちの多様な学びを実現し、将来の伊勢志摩地域を担う人材を育てていくためには、鳥羽高校だけでなく地域全体で、これからの高校における学びや望ましい学校規模と配置も含めた今後の在り方の協議・検討を進めていく必要があると考えます。

志摩高校 活性化取組の総括的な検証

志摩高校は志摩市唯一の普通科高校として、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動を展開し、生徒のキャリア育成や志摩市を担う当事者意識を醸成し、地域と連携・協働し、地域に貢献し、地域に愛され、地域とともにある学校を目指して高校の魅力向上に努めてきました。また、志摩高校の様々な取組について情報を発信し、地域からの認知を得るとともに、地域の中学生に対する丁寧な説明を行うことで、進学希望者の確保を目指してきており、志摩高校の生徒の約9割は志摩市内の中学校出身となっています。

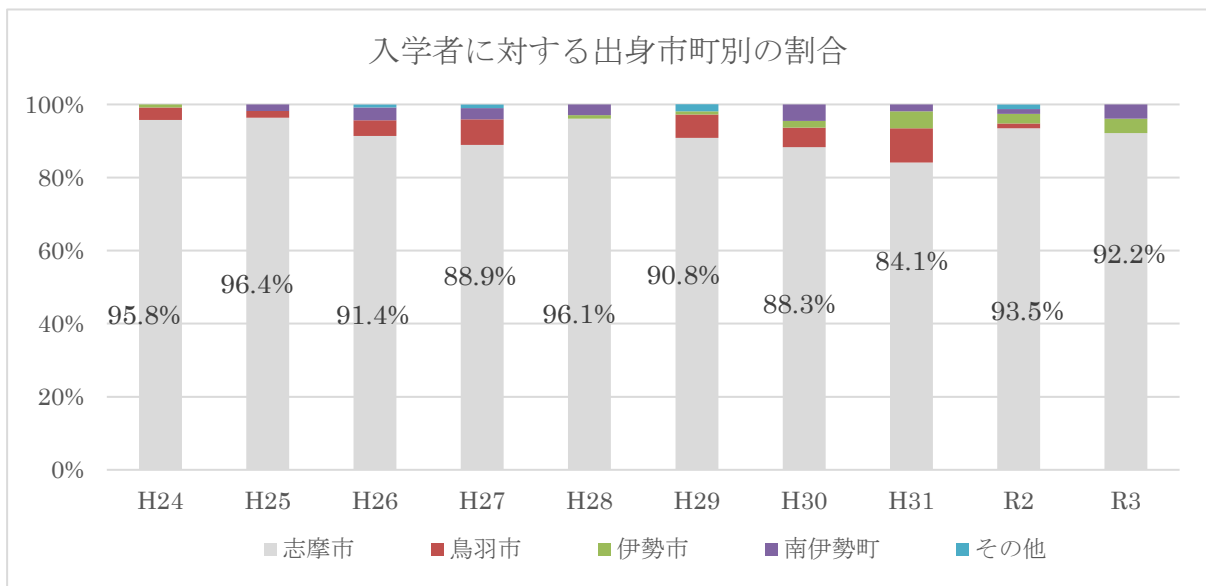
志摩高校が所在する志摩市においては、伊勢市方面への電車・バスの利便性が比較的高いこともあり、伊勢市内の高校を進学する生徒が多くなっている状況です。

今後の志摩市内中学校卒業生数の減少を考慮に入れると、志摩高校の活性化に向けた入学者増のためには、志摩市内中学校から志摩高校への進学者を増やすとともに、志摩市以外からの入学生の増加も必要です。

こうした中、志摩市内の中学校卒業生のうち志摩高校へ進学する割合を、活性化期間前の19～21%から30%（令和2年度は目標を25%へと修正）とすることを目指し、

- (1) 地域の教育資源の活用による特色ある教育活動を展開し、生徒のキャリア育成や志摩市を担う当事者意識の醸成
- (2) すべての生徒に対する基礎学力の定着と進路実現に向けた指導の充実
- (3) 教育、医療の分野の大学等への進学を目指す生徒に対する指導の充実
- (4) 地域への情報発信と中学生への丁寧な説明

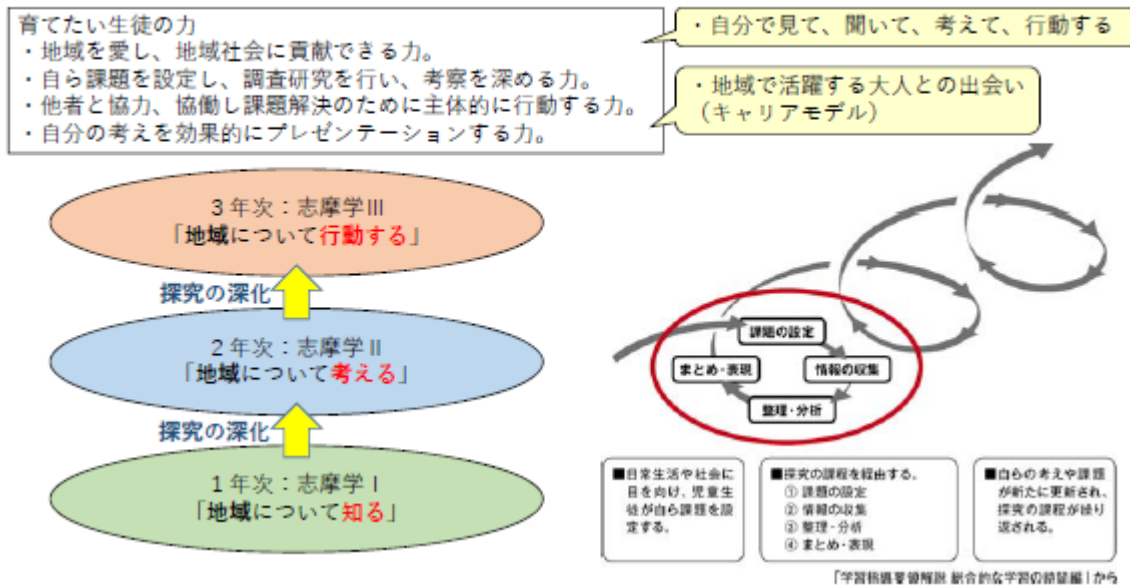
といった方向性のもと、活性化に取り組んできました。



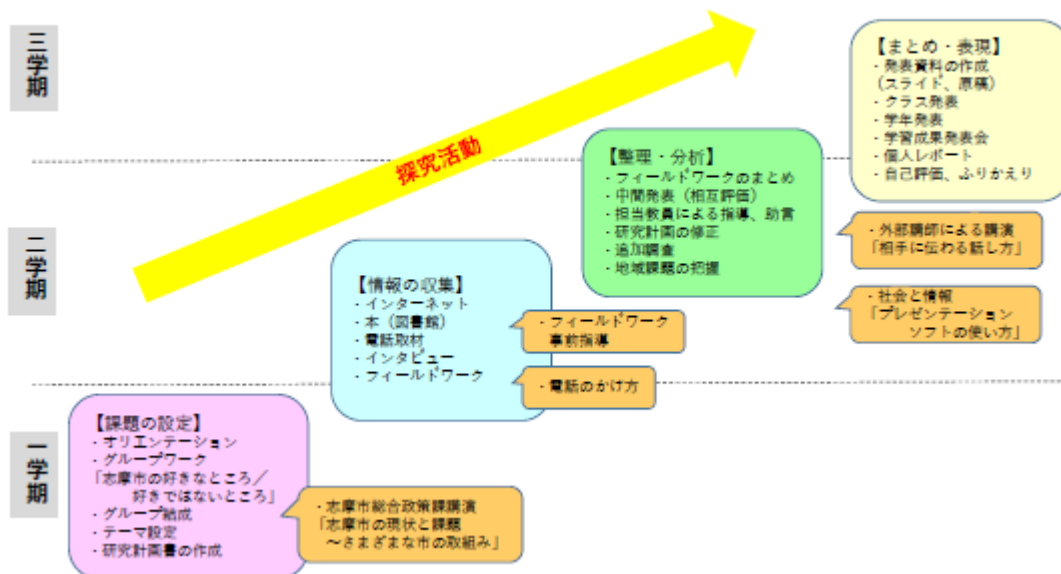
活性化の取組

- 地域の行政や企業等の協力を得て、生徒全員が3年間にわたって地域課題に取り組む「志摩学」のカリキュラムが完成し、系統的かつ教科横断的に地域活動に取り組む学習環境が整備されました。また、令和2年度には「志摩学」の1年間のまとめとして地域の関係者を招き、成果発表会を実施することができました。2年生でのインターンシップも含めて生徒のキャリア発達に大きく寄与し、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上にも繋がっています。

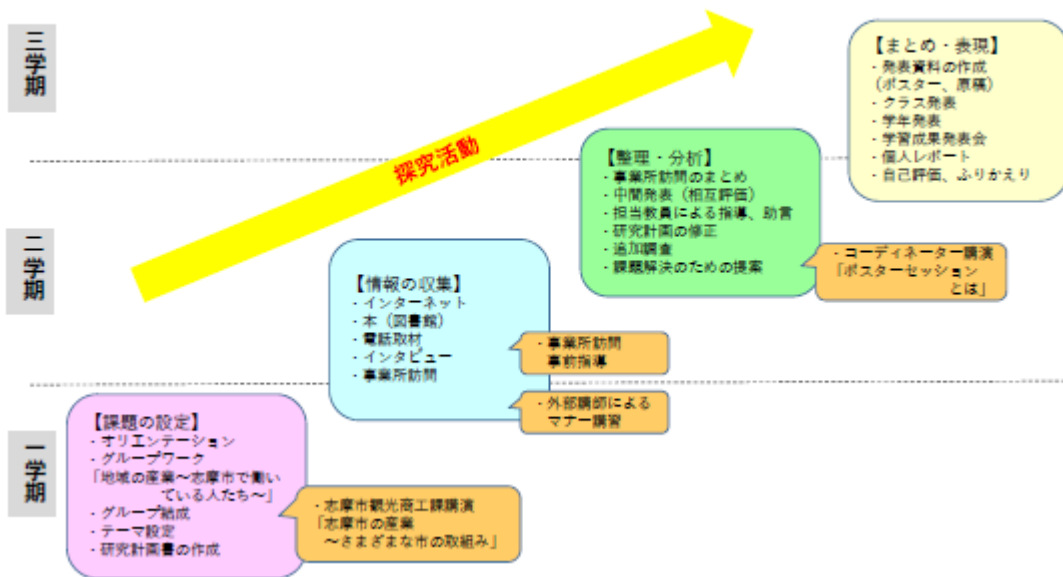
志摩高校 総合的な探究の時間（志摩学）



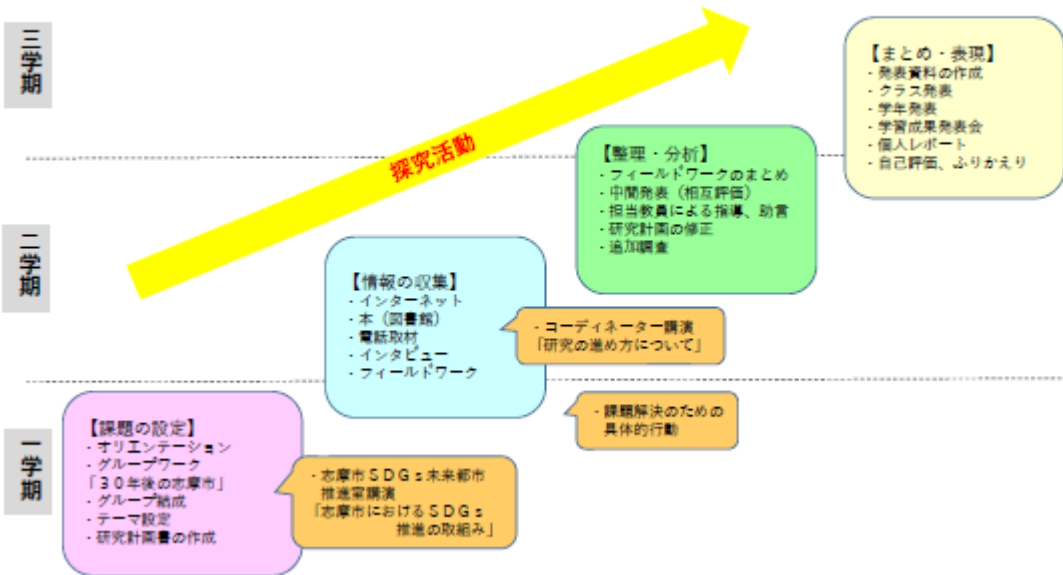
1年次：志摩学Ⅰ（火6 / 14：20～15：10）



2年次：志摩学Ⅱ（金6／14：20～15：10）



3年次：志摩学Ⅲ（木6／14：20～15：10）



- 志摩市の支援を得て、平成30年度に希望者10名がオーストラリア語学研修に参加し、校内や市内での成果発表会に参加するなど貴重な学習の機会を提供できました。（令和元年度から新型コロナウイルス感染症の影響で未実施）

- 出前授業や小学校への学習サポート、部活動で地域の大人や幼少中の児童生徒への開放講座を開くなど、本校生徒や教員が直接地域の人々に関わる機会を設けています。

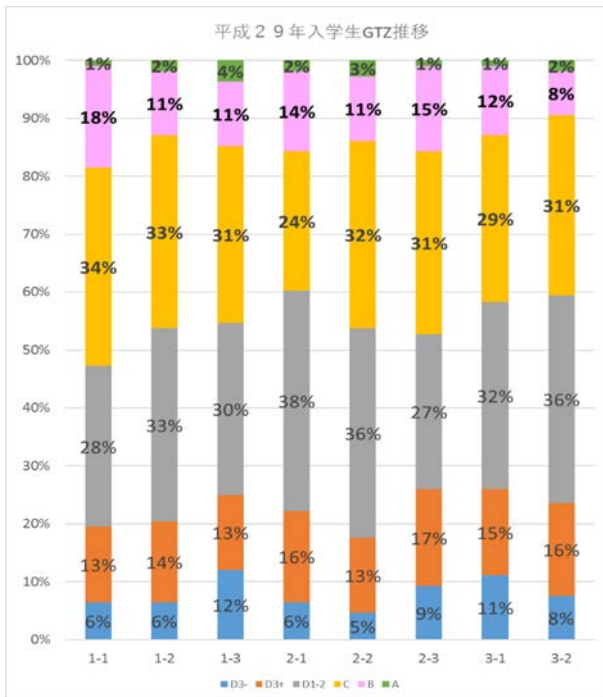
美術部の地元商店のシャッターペイント

有志生徒による地域の交通安全や防犯を推進するハイスクールパトロール

ボランティア部による地域イベントへの参加 等

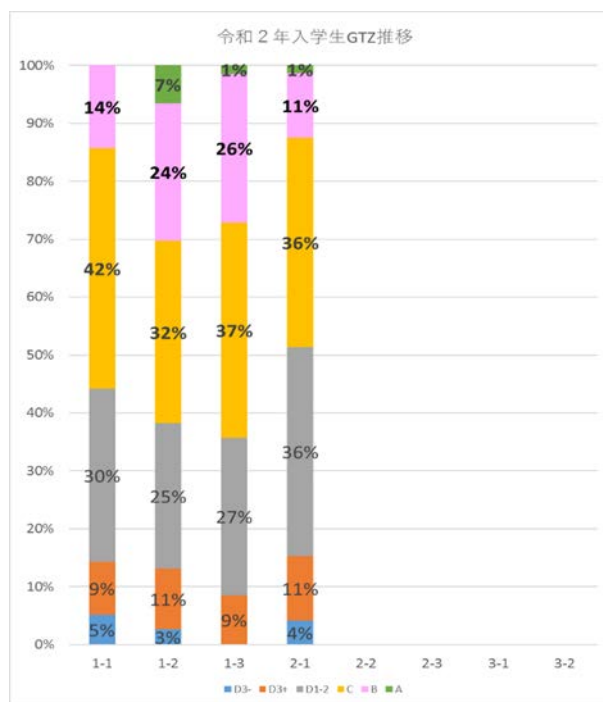
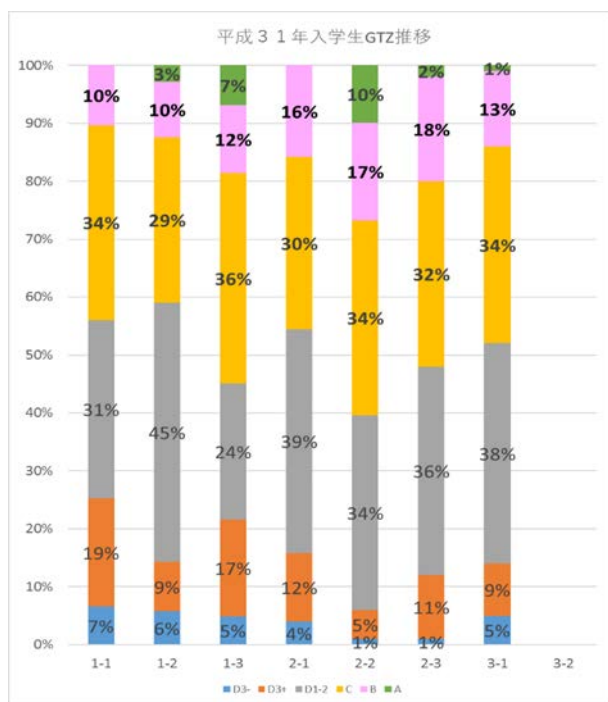
- 新聞・マスメディアへの情報提供やホームページ、インスタグラム等を活用して発信することで志摩高校のPRに努めてきました。令和2年度においては新聞掲載延べ17件、テレビ・ラジオでの放送延べ18件であり、特に美術部の活動が多く取り上げられました。

- 基礎学力の定着に向けて、基礎力診断テスト結果のフィードバック方法を改善し、全教員による振り返り研修会や予備校講師による進路講話などを実施しました。また、授業による学び直し、放課後や長期休業中の課外授業で個に応じた丁寧な指導を行い、平成30年度入学生および平成31年度入学生においては、基礎学力診断テストのD3ゾーンの生徒数が減少するとともに、A・Bゾーンの生徒数が増加しました。



	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2
A	1	2	4	2	3	1	1	2
B	19	12	12	15	12	16	13	8
C	37	36	33	26	35	34	31	33
D1-2	30	36	32	41	39	29	35	38
D3+	14	15	14	17	14	18	16	17
D3-	7	7	13	7	5	10	12	8

	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2
A	2	1	9	2	7	2	4	3
B	12	14	19	15	18	22	16	22
C	43	42	37	34	36	43	45	32
D1-2	30	30	26	43	38	28	29	35
D3+	19	15	13	8	3	7	4	5
D3-	5	7	4	4	1	0	3	4



	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2
A		3	7	0	10	2	1	
B	11	10	12	16	17	18	13	
C	36	30	37	30	34	32	34	
D1-2	33	47	24	39	34	36	38	
D3+	20	9	17	12	5	11	9	
D3-	7	6	5	4	1	1	5	

	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2
A		5	1	1				
B	11	18	18	8				
C	32	24	26	26				
D1-2	23	19	19	26				
D3+	7	8	6	8				
D3-	4	2	0	3				

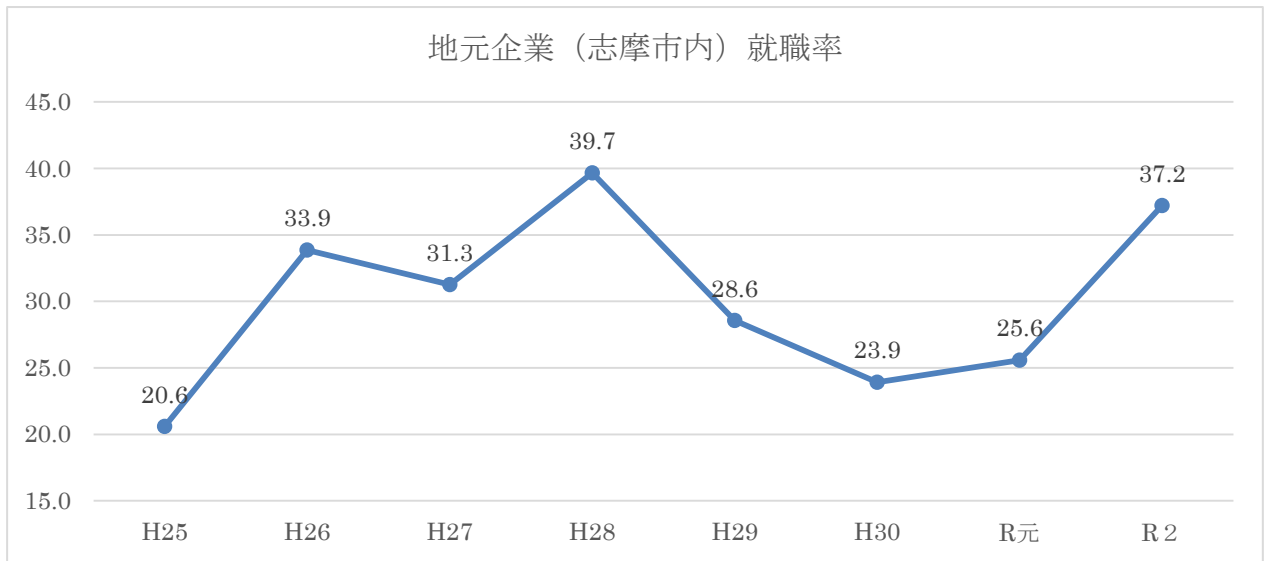
生徒の進路実現

- 志摩市民病院の協力による最長2週間の看護体験実習（平成29年～）や医療看護講座（平成30年～）の実施など、医療分野の上級学校への進学を支援してきました。いずれの年度も目標である20名には届きませんでした。毎年一定数の進学者がいます。

年度	H29	H30	R1	R2
看護体験学習参加者	2	2	1	※中止
医療看護講座参加者	-	15	11	※中止
医療分野の上級学校への進学者	12	13	19	11

- 「志摩学」などの地域学習の定着により、生徒の地域や地域産業等への理解は進みましたが、地元企業（志摩市内）への就職状況には目立った変化は見られませんでした。

卒業年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
地元企業就職者数 ／就職者数	7/34	21/62	15/48	23/58	10/35	11/46	11/43	16/43

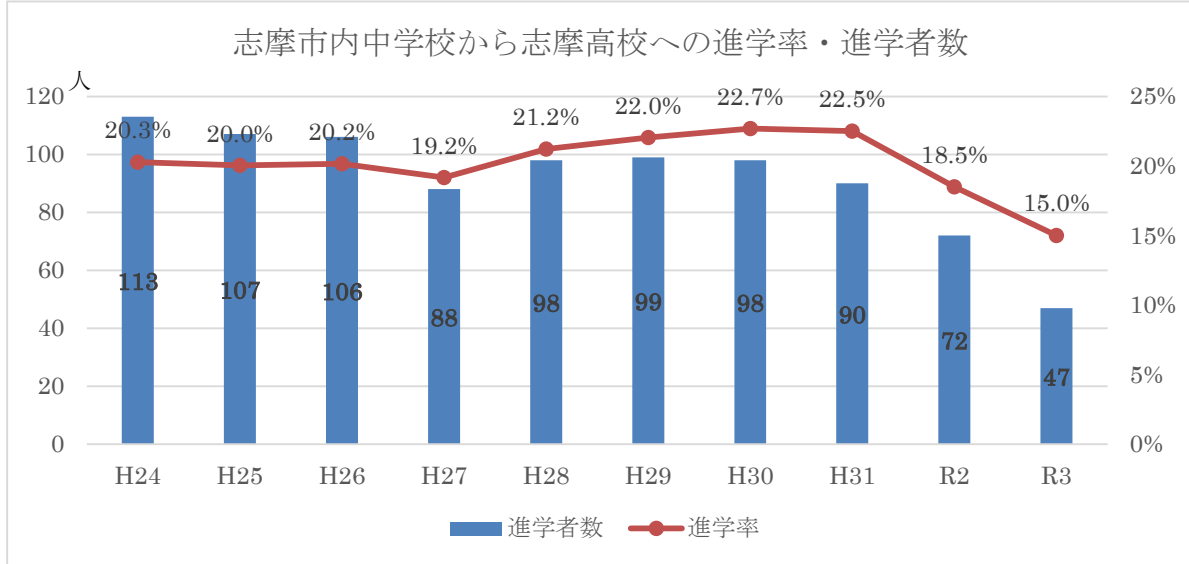


- 平成30年度から国際コースに進学グループを設け（令和2年度からはクラス減により2年次からの類型化）、生徒が互いに切磋琢磨する中で発展的な学習にも取り組むことで学校全体に進学意識が高まっており、令和元年度には地元の小学校教員を目指す生徒が、地域推薦入試にて三重大学教育学部に進学しました。

卒業年度	卒業者 総数	進学					就職	その他
		大学	短大	専攻科 高専等	専門学校	その他※		
H28	113	18	7	0	29	1	56	2
		15.9%	6.2%	0.0%	25.7%	0.9%	49.6%	1.8%
H29	97	17	8	0	34	1	35	0
		17.5%	8.2%	0.0%	35.1%	1.0%	36.1%	0.0%
H30	100	13	6	0	31	4	46	0
		13.0%	6.0%	0.0%	31.0%	4.0%	46.0%	0.0%
R1	107	23	4	0	35	2	41	2
		21.5%	3.7%	0.0%	32.7%	1.9%	38.3%	1.9%
R2	101	14	6	0	37	1	43	0
		13.9%	5.9%	0.0%	36.6%	1.0%	42.6%	0.0%

入学者の状況

- 平成 31 年度までは志摩市内中学校からの志摩高校への進学率は 20%台を維持してきましたが、令和 2 年度には 18.5%、令和 3 年度には 15.0%となりました。



- 志摩市内の中学生が伊勢市内の高校へ進学する割合は平成 29 年度から平成 31 年度までは 49%台でしたが、令和 2 年度は 59.4%、令和 3 年度は 54.0%となっています。

【志摩市内中学校卒業者の進学状況の推移】

志摩市の状況

%は、各市町における中学校卒業者に対する進学者の割合を表す

入学年度	卒業者数	全日制高校・高専進学者数	志摩		水産		南伊勢		鳥羽	商船	県立					私立		伊勢市内高校		管外 その他
			進学者数	進学率	度会	南勢	山田	伊勢			伊工	山商	明野	皇學	伊学	進学率	進学率			
24年度	557	540	113	20.3%	76	13.6%	0	3	4	23	45	57	29	44	29	70	11	285	51.2%	53
25年度	534	519	107	20.0%	78	14.6%	0	0	6	14	44	69	30	33	21	71	20	288	53.9%	41
26年度	526	510	106	20.2%	70	13.3%	0	1	4	17	56	55	34	28	27	75	10	285	54.2%	43
27年度	459	432	88	19.2%	58	12.6%	0	1	1	14	45	55	34	39	24	57	11	265	57.7%	32
28年度	462	432	98	21.2%	52	11.3%	0	3	0	15	41	50	24	34	24	60	11	244	52.8%	50
29年度	449	434	99	22.0%	67	14.9%	0	0	4	14	49	43	16	39	17	49	8	221	49.2%	44
30年度	432	418	98	22.7%	54	12.5%	0	1	0	21	40	49	16	34	20	45	8	212	49.1%	46
31年度	400	384	90	22.5%	48	12.0%	0	0	4	13	41	39	23	37	11	36	10	197	49.3%	48
2年度	389	372	72	18.5%	40	10.3%	0	0	3	13	38	51	18	29	19	52	24	231	59.4%	30
3年度	313	291	47	15.0%	37	11.8%	0	0	0	17	26	45	21	22	12	33	10	169	54.0%	43

* 管外とは伊勢志摩地域の全日制の県立（10校）と私立（2校）と高専（1校）以外の高校・高専への進学者数
 その他とは特別支援・定時制・通信制・各種学校への進学及び就職等の数

【伊勢志摩地域中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）令和3年5月1日】

		H 15.3	H 30.3	H 31.3	R 2.3	R 3.3	R 4.3	R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3
		卒業	卒業	卒業	卒業	卒業	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
伊勢市	卒業生数	1,510	1,196	1,170	1,087	1,057	1,083	1,126	981	1,034	1,000	1,029	988	899	969
	前年度対比			-26	-83	-30	26	43	-145	53	-34	29	-41	-89	70
	R3.3対比						26	69	-76	-23	-57	-28	-69	-158	-88
度会郡	卒業生数	552	383	369	358	308	315	336	313	322	292	303	265	268	277
	前年度対比			-14	-11	-50	7	21	-23	9	-30	11	-38	3	9
	R3.3対比						7	28	5	14	-16	-5	-43	-40	-31
鳥羽市	卒業生数	294	181	140	132	149	143	122	107	119	111	107	98	114	86
	前年度対比			-41	-8	17	-6	-21	-15	12	-8	-4	-9	16	-28
	R3.3対比						-6	-27	-42	-30	-38	-42	-51	-35	-63
志摩市	卒業生数	653	432	400	389	313	338	343	336	293	320	298	247	282	280
	前年度対比			-32	-11	-76	25	5	-7	-43	27	-22	-51	35	-2
	R3.3対比						25	30	23	-20	7	-15	-66	-31	-33
小計	卒業生数	3,009	2,192	2,079	1,966	1,827	1,879	1,927	1,737	1,768	1,723	1,737	1,598	1,563	1,612
	前年度対比			-113	-113	-139	52	48	-190	31	-45	14	-139	-35	49
	R3.3対比						52	100	-90	-59	-104	-90	-229	-264	-215
県内合計	卒業生数	20,468	17,458	16,811	16,489	15,777	16,212	16,046	15,871	15,549	15,405	15,220	14,700	14,343	14,077
	前年度対比			-647	-322	-712	435	-166	-175	-322	-144	-185	-520	-357	-266
	R3.3対比						435	269	94	-228	-372	-557	-1,077	-1,434	-1,700

○ 令和2年度から入学定員80名の募集となりました。毎年度欠員が出ています。

入学年度	入学定員	12月調査	入学者選抜(志願者/募集定員)			入学者数	欠員
			前期選抜	後期選抜	再募集		
H29	120	101	91/44	57/71	4/15	109	11
H30	120	105	92/44	60/71	3/12	111	9
H31	120	75	68/60	32/63	18/31	107	13
R2	80	71	64/40	34/36	2/5	77	3
R3	80	43	44/40	3/36	4/33	51	29

○ 近隣の鳥羽市、南伊勢町、伊勢市出身の入学者数は減少傾向にあります。

【志摩市外の伊勢志摩地域から志摩高校への入学者数の推移】

	伊勢市	鳥羽市	南伊勢町	合計	3市町中学生総数
29年度	1	7	0	8	1484
30年度	2	6	5	13	1456
31年度	5	10	2	17	1374
2年度	2	1	1	4	1270
3年度	2	0	2	4	1265

○ 令和2年度入学者選抜から「保護者の転住を伴わない県外からの入学志願」制度を導入しています。令和3年度現在、実績はありません。

志摩高校は志摩市唯一の普通科高校として、地域と連携・協働し、探究活動「志摩学」をはじめとする地域の教育資源を活用した特色のある教育活動を展開し、生徒のキャリア育成や志摩市を担う当事者意識を醸成するとともに、地域に愛され、地域とともにある学校を目指して学校活性化に努めてきました。また、志摩高校の様々な取組について情報を発信し、地域からの認知を得るとともに、地域の中学生等への丁寧な説明を行うことで進学希望者の確保を目指してきており、例年、生徒の9割以上が志摩市内中学校出身者となっています。

地域の教育資源を活用した特色のある教育活動の展開に加え、志摩高校ではすべての生徒に対する基礎学力の定着と進路実現に向けた指導の充実、教育・医療分野の上級学校への進学希望生徒に対する指導の充実等、きめ細やかな教育活動をおこない、一定の成果をあげてきました。また、部活動においても、ここ数年の間に相撲部のインターハイ出場、美術部の国際美術展最優秀校賞受賞などの成果をあげています。

一方で、志摩市においてはもともと伊勢方面への志向が強く、鉄道・バスの利便性が高まったことや、令和2年度からは私立高等学校の授業料が実質無償化になったことから、伊勢市内の高校へ進学する生徒の割合がますます高くなっている状況であり、様々な取組が志摩高校への進学者増にはつながっていません。今後の市内中学校卒業生数の推移を考慮に入れると、志摩高校の入学者増のためには、志摩市内中学校からの進学者を増やすとともに、志摩市以外からの入学者増も必要ととらえ、市外に向けた広報活動にも取り組んでいるところですが、市外からの入学者はごく限られた人数に留まっています。

志摩高校は現在、1学年2クラス、2学年2クラス、3学年3クラスの計7クラスに223名の生徒が在籍し、これに対して常勤の教諭・臨時的任用講師は短時間勤務を含めて22名となっています。現状でも校務分掌や教育活動、部活動の顧問等において人員が不足しており、一人の教員が複数の役割を担わざるをえず、生徒の幅広いニーズにきめ細やかに対応していくことが困難になりつつあります。また、生徒数や教員数が減少したことにより、令和3年度の部活動は令和2年度から3部減少した13部となりました。令和4年度の募集は2クラスとなっており、それに伴って教職員数や学校全体の生徒数が更に減少することから、志摩高校の特色であるきめ細やかな教育活動の継続や、生徒のニーズに対応した部活動の実施は困難になることが予想されます。

将来この地域を担うことのできる人材育成に向けて、今後も、生徒一人一人の多様なニーズに応えることができるきめ細やかな教育活動を行い、また、生徒が集団の中で互いに成長していく場を提供し続けることが重要です。少子化がさらに進行する中で、その実現に向けて志摩高校だけで完結させることにとらわれず、伊勢志摩地域全体を見渡して、高等学校の果たす役割と望ましい学校規模・配置について、早急に検討をしていく必要があると考えます。

水産高校 活性化取組の総括的な検証

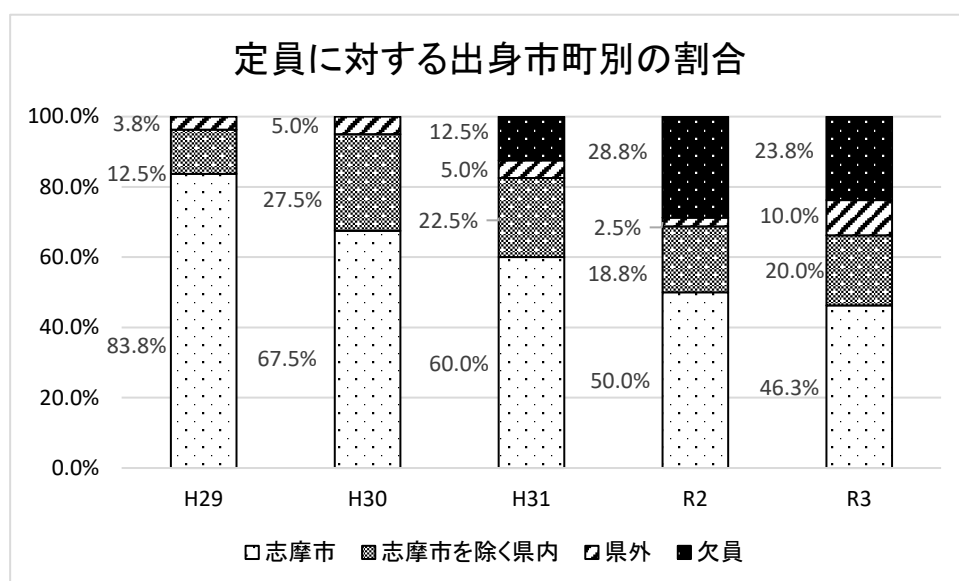
伊勢志摩地域には、伊勢市内に普通科高校と、農業、工業、商業等の専門学科設置高校に加えて、鳥羽・志摩・度会地域に小規模校の普通科、総合学科、専門学科の4校5校舎があります。また、私立全日制および通信制高校、国立高等専門学校、県立昼間定時制高校も設置されており、地域の中学生の学びの選択肢は多く存在しています。このような中、鳥羽・志摩・度会地域の中学生は伊勢市内の高校に進学する割合が高く、地域の中学校卒業生数の減少が進む中で、地域の高校の小規模化だけでなく、伊勢市内の高校の小規模化も進行しはじめ、伊勢志摩地域全体の高校のあり方が議論されています。

水産高校は県内唯一の水産学科を有する高校として、地域産業の教育資源を活用した特色ある教育活動を展開し、地域と連携・協働し、地域に貢献し、地域に愛され、地域とともにある学校をめざして高校の魅力向上に努めてきました。

同校は、広範囲からの入学生を受け入れつつ、地域に根づいた水産・海洋に特化した実習船教育が行える高等学校として確立しており、開かれた教育課程の下での教育活動を推進し、地域と協働した活動を進めています。在校生は、水産高等学校生としての誇りと自己肯定感をより高め、水産・海洋に関するスペシャリストとしての知識・技術を習得し、社会に貢献できる人材となることをめざして高校生活を送っています。

水産高校が所在する志摩市においては、伊勢市方面への電車・バスの利便性が比較的高いこともあり、伊勢市内の高校に進学する生徒が多くなっている状況です。

今後の志摩市内中学校卒業生数の減少を考慮に入れると、水産高校の活性化に向けた入学者増のためには、志摩市内中学校からの入学者をはじめとして、特に志摩市以外の ①近鉄沿線の伊勢・松阪エリア、②中・北勢・牟婁エリア、③水産学科の設置がない県外からの入学生の増加を図る必要があります。



こうした中、水産高校は、

- (1) 水産高校ならではの魅力を主とした情報発信を行い、市内中学校からの入学割合の確保と、市外中学校からの入学者数の増加を図る
- (2) 水産・海洋に関する実習教育を通じて、全てのコースが地域・産業界と協働した探究活動を推進し、水産海洋分野のリーダーを育成する
- (3) 水産高校の使命を踏まえ、専門的な資格取得等を進め、その専門性を活かし、一人ひとりの希望に応じた進路実現を図る
- (4) 個々の生徒の資質や能力に応じた指導・支援に取り組み、基礎学力の定着と専門性の向上を図り、社会参画力を育成する

といった方向性のもと、活性化に取り組んできました。

活性化の取組

- 志摩市と連携し、遠方からの入学者の受入れ環境を整備するため、下宿先や保証人等の開拓を進めています。

下宿生受入れ可能人数（本科）

年度	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3
受入先	22人	22人	24人	26人	26人	29人

- 各学科やコースの専門性に応じて職場現場見学や実地体験の機会を拡大し、自己理解・職業理解を深めています。

3年次における水産・海洋系分野でのインターンシップ体験者数（本科）

年度	H28	H29	H30	R 1	R 2
人数	54人	60人	37人	43人	-
割合	64%	87%	55%	57%	-

※R 2は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できず

- 知識と技術を高めるため、さまざまな資格取得に向け学習活動を進めています。令和3年度は、水産工学コースの生徒が20以上の資格取得をし、全国の水産高等学校で1位を獲得しました。

基礎的な資格（A、B）および高度な資格（C、D）を取得した生徒数（本科）

- A：高等学校水産海洋技術検定（全水協）
- B：小型船舶操縦士1級
- C：海技士（航海士）筆記試験4級以上
- D：海技士（機関士）筆記試験4級以上

年度	H28	H29	H30	R 1	R 2
A	45名/74 61%	41名/81 51%	39名/80 49%	35名/70 50%	28名/57 49%
B	50名/85 59%	43名/53 81%	45名/53 85%	51名/59 86%	48名/50 96%
C	0名	0名	3名	1名	3名
D	1名	0名	1名	1名	2名

○個々の生徒の資質や能力に応じた指導・支援に取り組み、基礎学力の定着と専門性の向上を図り、社会参画力の育成に取り組んでいます。令和2年度は、A I ドリルを活用し、生徒の学力や進度に応じた個別最適化学習を数学と英語の授業で導入しました。A I ドリルは事前学習にも活用し、学習意欲の向上につなげています。

(参考)

学習意欲に関するアンケート調査結果（高校教育課調べ）

- ②授業では話し合う活動などをおとして、自分で考え自分から取り組んでいますか
(授業への参加・令和元年度より追加)
- ⑥目標の達成をめざして学習などができていますか（目標意識の有無）

年度	H28	H29	H30	R 1	R 2
②	—	—	—	62.9%	90.0%
⑥	75.0	32.1%	50.0%	54.3%	80.0%

※高2生 40名抽出、2月実施、肯定的な回答の割合

自己肯定感に関するアンケート調査結果（水産高校調べ・令和元年度より実施）

- ④自分のことが好きですか
- ⑥自分の中には様々な可能性があると思う
- ⑩自分という存在を大切に思えますか

年度	R 1	R 2
④	47.1%	56.8%
⑥	60.3%	56.5%
⑩	61.7%	71.0%

※全校生徒、1月実施、肯定的な回答の割合

生徒の進路実現

卒業生の進路状況

卒業年度	卒業者 総数	進学					就職	その他
		大学	短大	専攻科 高専等	専門学校	その他		
H28	85	0	0	11	17	1	56	0
		0.0%	0.0%	12.9%	20.0%	1.2%	65.9%	0.0%
H29	69	3	3	6	8	1	48	0
		4.3%	4.3%	8.7%	11.6%	1.4%	69.6%	0.0%
H30	67	1	2	6	10	0	48	0
		1.5%	3.0%	9.0%	14.9%	0.0%	71.6%	0.0%
R1	76	4	0	11	4	0	57	0
		5.3%	0.0%	14.5%	5.3%	0.0%	75.0%	0.0%
R2	70	2	3	8	10	0	46	1
		2.9%	4.3%	11.4%	14.3%	0.0%	65.7%	1.4%

○成果発表会等の機会を活用して、専攻科生から本科生に活動報告を実施するなど、専攻科への進学割合の増加に取り組んでいます。（目標 25%以上）

専攻科への進学者数（海洋・機関科）

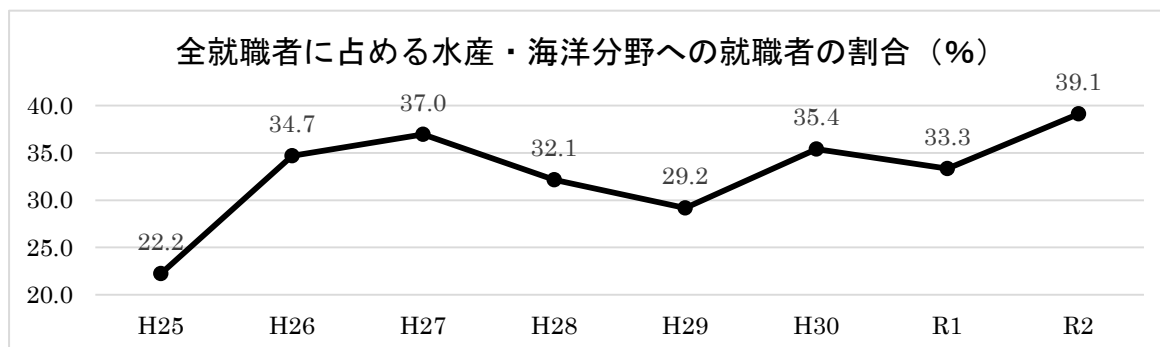
年度	H28	H29	H30	R 1	R 2
人数	11名/52	6名/30	6名/38	11名/38	8名/35
割合	21.2%	20.0%	15.8%	28.9%	22.9%

○船舶・水産業の魅力等を実感させ、専門分野への就職希望意識の醸成に努めています。

水産・海洋分野への就職者数（本科）

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2
人数	14名 /63	17名 /49	17名 /46	18名 /56	14名 /48	17名 /48	19名 /57	18名 /46

※分母は就職者全体の人数



【水産高校】

- 水産関連の学びを深めるために、進学指導チームを作り、進学指導の充実に取り組んでいます。不合格となったものの、平成24年度卒業生（合格）以来、8年ぶりに、三重大学生物資源学部海洋生物資源学科の受験につながりました。
- 専攻科では、漁業従事者の育成に取り組んでいますが、海運・港湾関係への就職が多く、漁業関係への就職は少ない状況です。

県内に在住し水産業に従事する者の人数（専攻科）

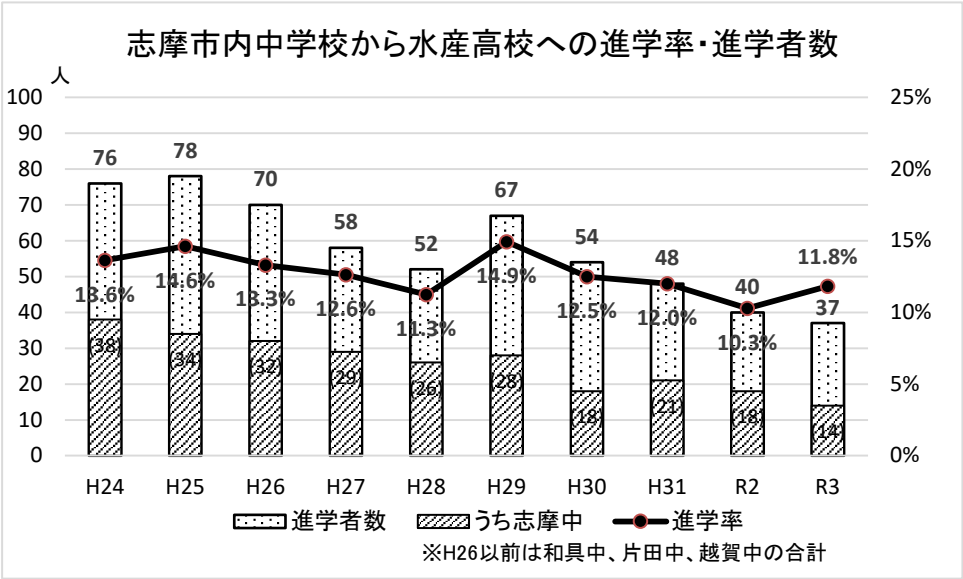
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2
人数	10名 /12	6名 /9	8名 /8	8名 /11	8名 /11	8名 /11	6名 /6	6名 /6
うち漁船	1名	0名	0名	1名	2名	1名	1名	1名

※分母は専攻科卒業生数

入学者の状況

○平成 27 年度に 3 学科 120 名から 2 学科 80 名に改編しましたが、H31 年度から再び欠員が生じており、R 2 年度は 23 人、R 3 年度は 19 人と欠員が多い状況が続いています。

○志摩市内の中学校からの進学率は 10% 台前半でやや減少傾向にあり、卒業者数も減少していることから (H24:557 人→R3:313 人)、志摩市内の中学校からの入学人数は減少しています。なお、志摩市内中学校出身者のうち、4 割前後を志摩中学校出身者が占めています。



※平成 27 年に 3 学科 120 名から 2 学科 80 名に改編

【志摩市内中学校卒業者の進学状況の推移】

志摩市の状況

%は、各市町における中学校卒業者に対する進学者の割合を表す

入学年度	卒業者数	全日制高校・高専進学者数	水産		志摩		南伊勢		鳥羽	商船	県立					私立		伊勢市内高校		管外 その他
			人数	割合	人数	割合	度会	南勢			山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学	人数	割合	
24年度	557	540	76	13.6%	113	20.3%	0	3	4	23	45	57	29	44	29	70	11	285	51.2%	53
25年度	534	519	78	14.6%	107	20.0%	0	0	6	14	44	69	30	33	21	71	20	288	53.9%	41
26年度	526	510	70	13.3%	106	20.2%	0	1	4	17	56	55	34	28	27	75	10	285	54.2%	43
27年度	459	432	58	12.6%	88	19.2%	0	1	1	14	45	55	34	39	24	57	11	265	57.7%	32
28年度	462	432	52	11.3%	98	21.2%	0	3	0	15	41	50	24	34	24	60	11	244	52.8%	50
29年度	449	434	67	14.9%	99	22.0%	0	0	4	14	49	43	16	39	17	49	8	221	49.2%	44
30年度	432	418	54	12.5%	98	22.7%	0	1	0	21	40	49	16	34	20	45	8	212	49.1%	46
31年度	400	384	48	12.0%	90	22.5%	0	0	4	13	41	39	23	37	11	36	10	197	49.3%	48
2年度	389	372	40	10.3%	72	18.5%	0	0	3	13	38	51	18	29	19	52	24	231	59.4%	30
3年度	313	291	37	11.8%	47	15.0%	0	0	0	17	26	45	21	22	12	33	10	169	54.0%	43

*管外とは伊勢志摩地域の全日制の県立(10校)と私立(2校)と高専(1校)以外の高校・高専への進学者数
その他とは特別支援・定時制・通信制・各種学校への進学及び就職等の数

【伊勢志摩地域中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）令和3年5月1日】

		H 15.3	H 30.3	H 31.3	R 2.3	R 3.3	R 4.3	R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3
		卒業	卒業	卒業	卒業	卒業	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
伊勢市	卒業生数	1,510	1,196	1,170	1,087	1,057	1,083	1,126	981	1,034	1,000	1,029	988	899	969
	前年度対比			-26	-83	-30	26	43	-145	53	-34	29	-41	-89	70
	R3.3対比						26	69	-76	-23	-57	-28	-69	-158	-88
度会郡	卒業生数	552	383	369	358	308	315	336	313	322	292	303	265	268	277
	前年度対比			-14	-11	-50	7	21	-23	9	-30	11	-38	3	9
	R3.3対比						7	28	5	14	-16	-5	-43	-40	-31
鳥羽市	卒業生数	294	181	140	132	149	143	122	107	119	111	107	98	114	86
	前年度対比			-41	-8	17	-6	-21	-15	12	-8	-4	-9	16	-28
	R3.3対比						-6	-27	-42	-30	-38	-42	-51	-35	-63
志摩市	卒業生数	653	432	400	389	313	338	343	336	293	320	298	247	282	280
	前年度対比			-32	-11	-76	25	5	-7	-43	27	-22	-51	35	-2
	R3.3対比						25	30	23	-20	7	-15	-66	-31	-33
小計	卒業生数	3,009	2,192	2,079	1,966	1,827	1,879	1,927	1,737	1,768	1,723	1,737	1,598	1,563	1,612
	前年度対比			-113	-113	-139	52	48	-190	31	-45	14	-139	-35	49
	R3.3対比						52	100	-90	-59	-104	-90	-229	-264	-215
県内合計	卒業生数	20,468	17,458	16,811	16,489	15,777	16,212	16,046	15,871	15,549	15,405	15,220	14,700	14,343	14,077
	前年度対比			-647	-322	-712	435	-166	-175	-322	-144	-185	-520	-357	-266
	R3.3対比						435	269	94	-228	-372	-557	-1,077	-1,434	-1,700

○遠方からの入学生の受入れ先の開拓を進めた結果、令和3年度は県外中学出身者が7名に増えました。（県外中学出身者 H27：4人、H28：2人）

入学者選抜の状況

入学年度	入学定員	12月調査	入学者選抜(志願者/募集定員)			入学者数	※うち県外 中学出身者	欠員
			前期選抜	後期選抜	再募集			
H29	80	76	74/40	41/37		80	2	0
H30	80	75	77/40	37/36	1/1	80	4	0
H31	80	75	75/40	33/36	2/10	70	4	10
R2	80	58	59/40	14/37	0/23	57	2	23
R3	80	51	61/40	16/36	2/21	61	7	19

○中学生を対象とした公開講座等の内容を充実させ、水産高校の魅力を一層発信するとともに、保護者に対して、水産高校の「教育体制」と「3年間で育てる資質」について、もっとわかりやすく発信し、理解を求めていく必要があります。

【令和3年度本科生185名を対象とした入学に関する意識調査】

- ・「入学を決めたものは」の問いに対する回答結果は、「高校生活入門講座などの説明会」が28.3%、「親族からの進め」が25.9%、「中学校の先生からの進め」が15.7%となっている。
- ・「入学の参考にするために参加した行事は」の問いに対する回答結果は、「高校生入門講座」が52.3%、「水高祭（文化祭の公開日）」が26.5%、「しろちどり職場体験」が8.3%となっている。

協議のまとめ

水産高校は県内唯一の水産学科を有する高校として、地元志摩市や水産関連施設等と連携・協働し、各学科・各コースが水産の専門的な知識や技術と地域産業の資源を活用し、県内水産関連産業の現状と課題を探りながら、改善提案を行う探究活動を展開するとともに、大型実習船での操業実習、海洋環境調査、国際航海を通じて、水産関連産業の担い手育成に取り組んできました。

更に、資格対策課外講座体制の充実によって、水産・海洋系の教職員の養成や高度な海技士資格を目指す専攻科への進学希望者の増加に努めてきました。

一方で、地域の少子化が進行する中、入学者の確保に向け、こうした活性化の取組を積極的に情報発信するとともに、志摩市の協力も得ながら市内中学校対象の出前講座等をとおして魅力発信に取り組んできましたが、市内からの入学者は減少しました。また、市外遠方の中学校に対しては個別に訪問し魅力発信を進めたことで、入学者数は微増しましたが、全体では入学者数の増加にはつながっていません。市内中学校からの水産高校への期待は、以前に比べ高まってきているものの、子どもたちの多様化する進路希望を実現するため、伊勢市内の高校への進学志向が強く、本校の水産学科だけでは対応ができていません。他方、市外遠方や県外からの入学者数は、交通不便の環境下においても増加傾向にあるものの、受入先（下宿）の開拓・確保が進まないことが課題となっており、積極的な入学生の募集が難しい状況にあります。

水産高校では、基礎学力の定着と専門性の深化に向け、現在、水産学科と共通教科の教科横断的な学びを推進しています。しかし、共通教科の教員はほとんどの教科で1名配置となっており、選択科目の充実や組織的な進学支援体制づくりなど難しい状況です。また、部活動についても団体スポーツ競技に挑戦する部員不足や水産高校ならではの種目を設置しようとする、現在ある部活動の継続が難しくなるなどの課題があります。

このことを踏まえ、今後更に少子化が進む中、子どもたちの多様な学びを実現し、将来の水産業と伊勢志摩地域を担う人材を育成していくためには、伊勢志摩地域全体を見据えて、適切な学校規模と配置を協議・検討していく必要があると考えます。

南伊勢高校南勢校舎 活性化取組の総括的な検証

伊勢志摩地域の県立高校には、伊勢市内に普通科高校と、農業、工業、商業等の専門学科設置高校に加えて、鳥羽・志摩・度会地域に2学級規模の普通科、総合学科、専門学科の4校5校舎があります。また、伊勢市を中心に私立全日制および通信制高校、国立高等専門学校、県立昼間定時制等の学校も設置されており、中学生の学びの選択肢は少なくないため、南伊勢町内をはじめ鳥羽・志摩・度会地域の中学生は伊勢市内の高校に進学する割合が高い状況です。一方、伊勢志摩地域の中学校卒業生数の減少は進んでおり、鳥羽・志摩・度会地域だけでなく伊勢市内の高校の小規模化も進行し、伊勢志摩地域における高校のあり方が議論されています。

南伊勢高校南勢校舎は南伊勢町唯一の高等学校であり、南勢校舎では南伊勢町内2中学校からの入学者が9割以上を占めており、この5年間では町外からの入学生は年に1人か0人となっています。南勢校舎は平成23年度から1学級40人定員となりましたが、入学者数は直近5年でみると年平均10.4人となり、入学者数が1桁となる年が3年あり、慢性的に欠員の多い状態が続いています。なお、募集定員は令和2年度から度会校舎との一括募集で80人定員としています。

南勢校舎への入学者の増加に向けては、南伊勢町内の中学生が南勢校舎に入学する割合を増やすことは必要であるものの、町内中学生の減少を鑑みると、ほとんど来ていない町外からの入学生を劇的に増やす必要があります。

このような状況の中で南伊勢高校南勢校舎は、地域からの信頼度がいっそう向上し、町内の中学校から入学者の割合が増加することを目指して、

- ① コミュニティスクールとして地域との連携
- ② 町内小中学校との連携
- ③ 度会校舎との交流や遠隔授業の促進
- ④ 丁寧な指導による基礎学力の育成
- ⑤ 一人ひとりの希望に応じた進路実現
- ⑥ 町内住民に向けたPR戦略

を活性化の6つの方向性とし、地域と一体となった活性化の取組を進めてきました。

入学年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
入学者数	30	23	18	24	18	5	21	5	14	7
南伊勢町内中学校出身者数	25	23	17	22	15	5	20	4	13	7
入学者に占める南伊勢町出身者の割合	83.3%	100.0%	94.4%	91.7%	83.3%	100.0%	95.2%	80.0%	92.9%	100.0%
南伊勢町外からの入学生	5	0	1	2	3	0	1	1	1	0

活性化の取組

- 平成 29 年度入学生から新たな教育課程の地域創生アドバンスコースを設置して地域と一体となった課題解決型学習に取り組んでいます。(令和 4 年度入学生からは全員が履修)

(受講生徒数)

	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
「地域探究」(2年)	3人	9人	3人	6人
「地域課題研究」(3年)	—	3人	9人	3人
インターンシップ(2年)	—	2人	1人	3人
地域の講師による授業回数	8回	29回	45回	(43回予定)

- 町行政等と連携して地域の防災教育の推進と、将来に向けた町の防災リーダーの育成を進めています。平成 24 年度からの積み重ねで活動が第 24 回防災まちづくり大賞 消防庁長官賞の受賞につながりました(消防庁主催：令和 2 年 2 月)。

(防災活動)

	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
総合的な探究の時間での講演やFWの回数	10回	11回	11回	9回	4回	11回	(7回)
町主催、防災訓練参加者数	—	—	22人	27人	17人	21人	(26人)
県主催、東北被災地訪問参加者数	4人	4人	4人	4人	5人	中止	※(21人)

※1・2年で名古屋か大阪の防災センター訪問を予定

- S B P (ソーシャル・ビジネス・プロジェクト) の活動を充実して、町内外のイベント参加や大学生、県外高校との交流(熊本県立天草拓心高校 H30~) 等で、南伊勢町の P R をするなど南伊勢町の活性化に向けて行動しています。

(S B P 活動等)

	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
活動生徒数	9人	6人	6人	6人	8人
セレクトギフト販売	200個	100個	200個	100個	
ふるさと教育	1回	2回	3回	1回	(1回)
茶道部の町内活動	3回	2回	2回	中止	

- 平成 29 年度から学校行事や教員研修で度会校舎との連携を進めるとともに、ICT を活用した学校行事や遠隔授業の試行にも取り組み、令和 2 年度には度会校舎と午前の校時を揃えるなど、環境整備にも努めています。また、平成 29 年度からは度会校舎との合同面接会を開催して、生徒の進路実現につなげています。

(度会校舎との連携)

	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
遠隔授業等の実施回数	7 回	4 回	4 回	2 回	
合同で活動する部活動数	3	2	2	2	3

※柔道部、ソフトテニス部、野球部、陸上部

生徒の進路実現の状況

- 町の支援により、放課後の進学・就職対策課外授業の実施や公設塾の開設をおこないました。また、町からの大学進学給付型奨学金の補助制度を利用して進路の実現を繋げることができました。

(町の支援による進路支援)

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
就職活動支援員の配置	有	有	有	無	有	無
課外授業時数	182	236	266	144	166	
公設塾参加者	—	—	—	6 人	—	—
大学進学給付型奨学金の補助利用者	—	5 人	2 人	2 人	3 人	

- 7～8 割程の生徒が、地元企業・大企業・公務員等の就職を希望しており、就職活動支援員のサポートもあって、就職を希望する生徒の全てが第 1 希望に内定しています。

(地元企業就職者数) ◎南伊勢町の企業・会社のみ

卒業年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
地元企業就職者数	6/16	4/19	5/17	2/15	4/12	4/13	0/2	6/13
／就職者数	37.5%	21.1%	29.4%	13.3%	33.3%	30.8%	0%	46.2%

- 平成 28 年度には大学進学者は 0 人でしたが、平成 29 年度から専任講師の課外授業の時間数増加や大学進学給付型奨学金の補助もはじまり、平成 29 年度は 5 人、平成 30 年度は 2 人、令和元年度は 2 人が大学に合格しました。その中には、1 年生で英語検定準 2 級に合格した生徒や、地元の教員を目指して地域推薦入試にて三重大学教育学部に進学した生徒もいます。

卒業年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
大学進学者数／ 卒業生数	7/32	1/26	1/22	0/18	5/22	2/16	2/5	3/20

【南伊勢高校南勢校舎】

(過去5カ年の進路状況)

卒業年度	卒業者総数	進学					就職	その他
		大学	短大	専攻科 高専等	専門 学校	その他		
H28	18	0	1	0	2	0	15	0
		0.0%	5.6%	0.0%	11.1%	0.0%	83.3%	0.0%
H29	22	5	0	0	5	0	12	0
		22.7%	0.0%	0.0%	22.7%	0.0%	54.5%	0.0%
H30	16	2	0	0	1	0	13	0
		12.5%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	81.3%	0.0%
H31	5	2	0	0	1	0	2	0
		40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%
R2	20	3	0	0	4	0	13	0
		15.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	65.0%	0.0%

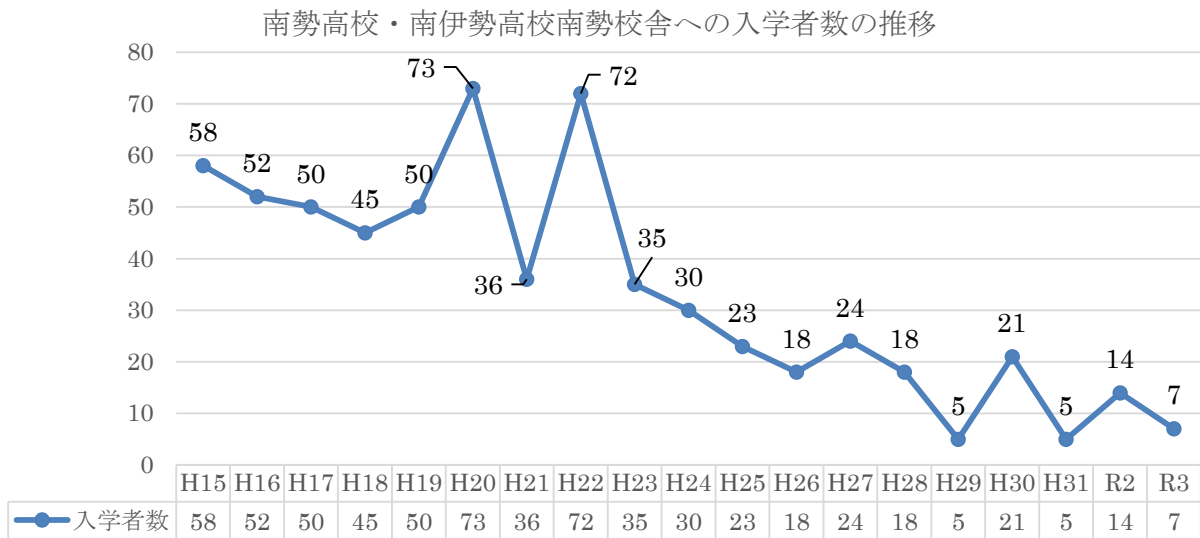
入学者の状況

入学年度	入学定員	12月調査	入学者選抜(志願者/募集定員)				入学者数	※うち 県外 中学出 身者	欠員
			前期選抜	中高一貫	後期選抜	再募集			
H29	40	5	3/8	2	0/35	1/35	5	0	35
H30	40	20	12/12	8	3/22	0/19	21	0	19
H31	40	4	3/20	2	0/35	0/35	5	0	35
R2	※80	※46(13)	※39(7)/40	6	※5(1)/36	※2(0)/32	※50(14)	0	※30
R3	※80	※35(6)	※33(4)/40	3	※9(0)/46	※5(0)/39	※45(7)	0	※35

南伊勢高校は令和2年度入学者選抜より両校舎あわせて募集定員が80人となる。※は両校舎あわせた人数、()内は南勢校舎

【南伊勢高校南勢校舎】

- 南伊勢高校南勢校舎の募集定員は平成 23 年度に 40 人となり、入学者が定員を大きく割り込む状態が続いています。

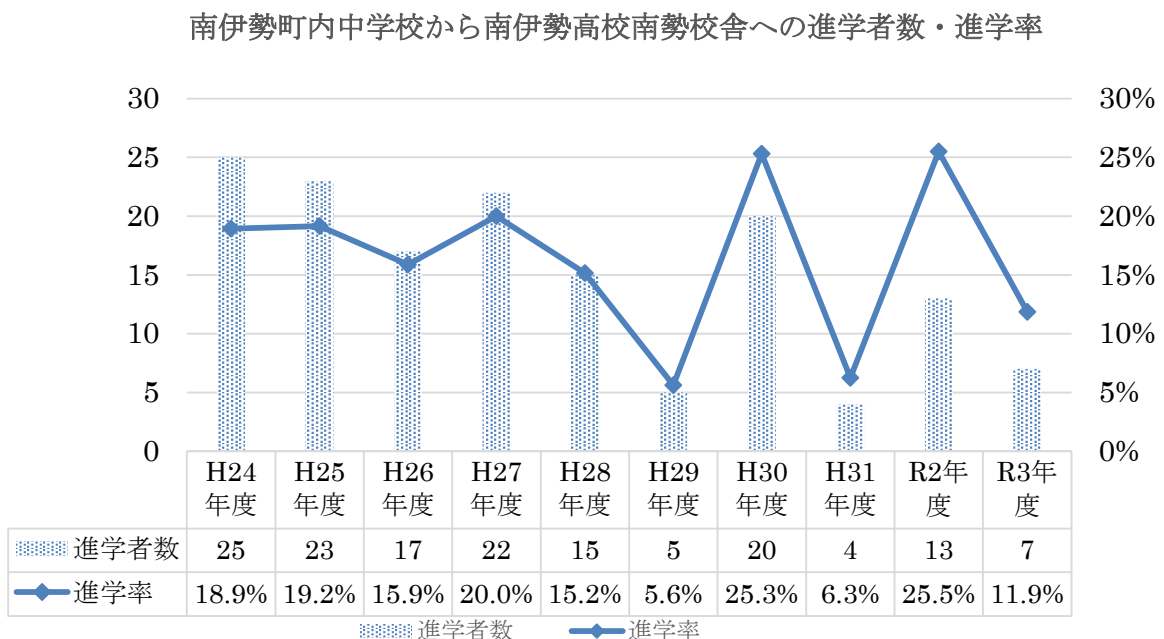


【南勢高校、南伊勢高校南勢校舎のクラス数の推移】

S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	※2	※2

※R2 年度から度会校舎と一括して募集

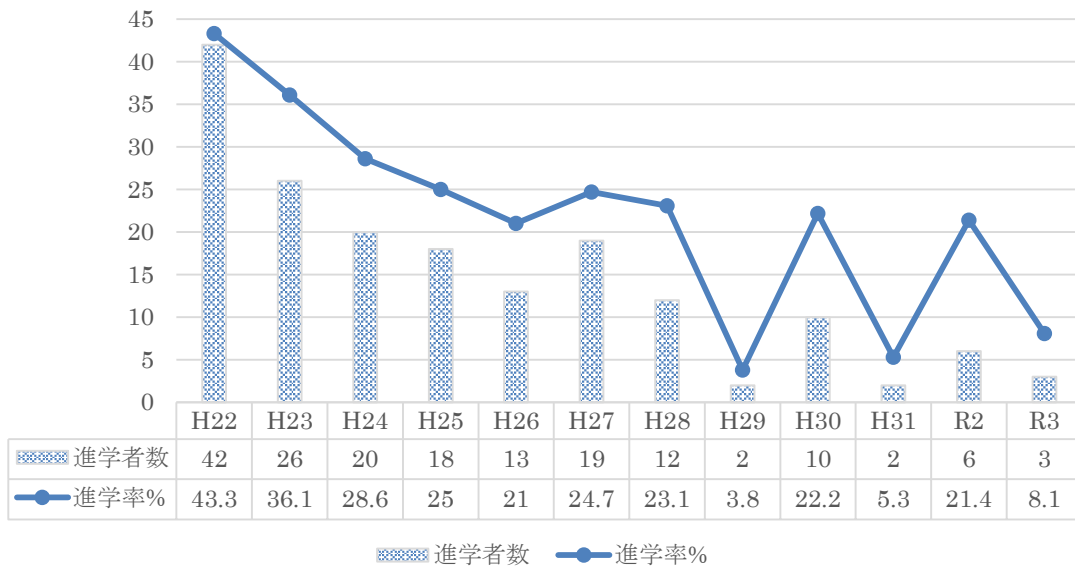
- 南伊勢町内中学校からの南伊勢高校南勢校舎への進学率は、平成 28 年度までは 15～20%台で推移していましたが、現活性化計画がはじまった平成 29 年度には 5.6%となり、その後隔年現象で進学率は上下しています。



【南伊勢高校南勢校舎】

○ また、連携中学校からの南伊勢高校南勢校舎への進学率は下降傾向にあります。

連携中学（南勢中）から南伊勢高校南勢校舎への進学者数・進学率



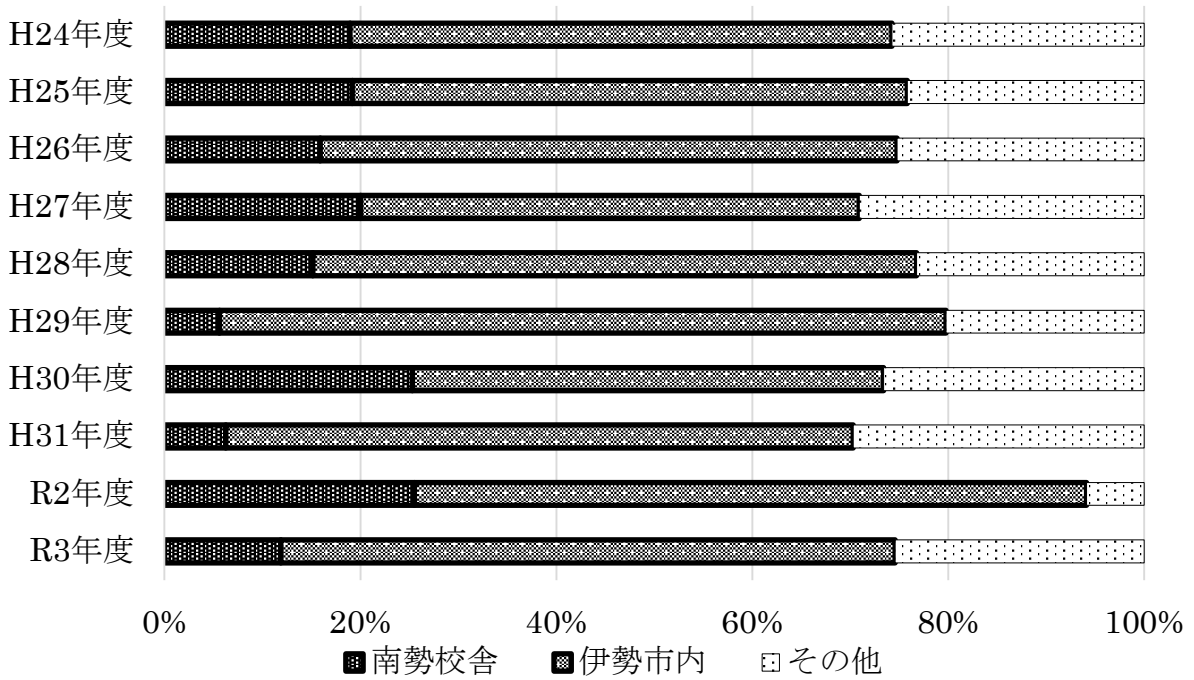
○ 一方、南伊勢町から伊勢市内の高校へ通学する割合は上昇傾向であり、現在では6割以上の生徒に及んでいます。

南伊勢町の状況

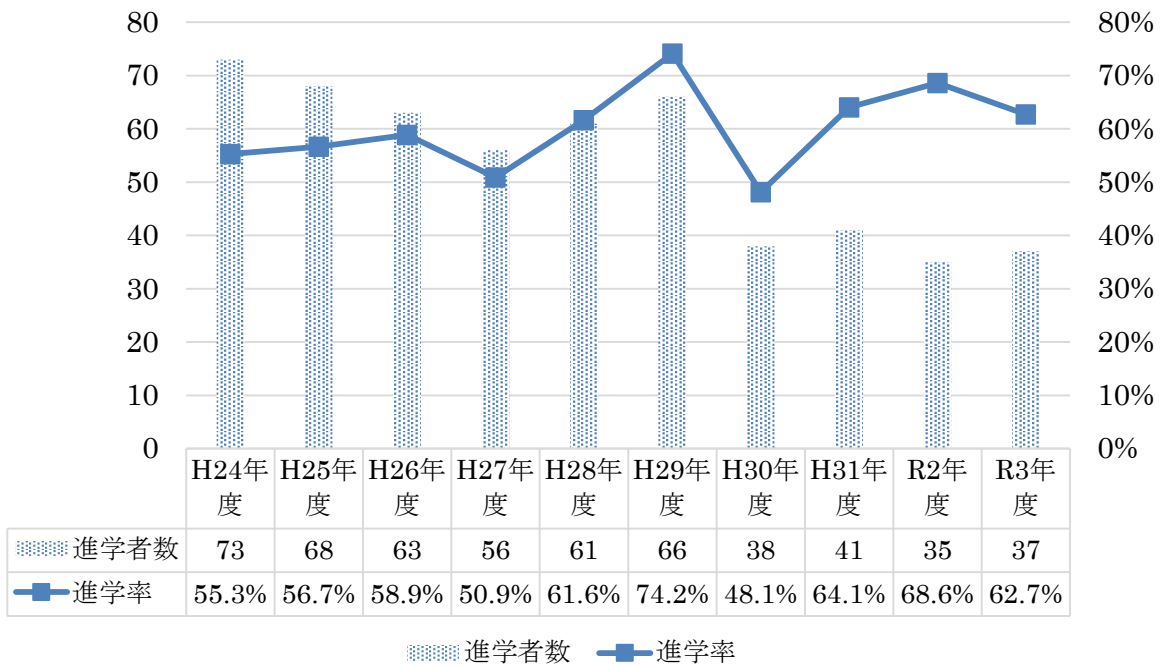
入学年度	卒業 者数	全日制 高校・ 高専進 学者数	南伊勢高校		鳥羽	商船	志摩	水産	県立					私立		伊勢市内高校		管外 その他	
			南勢校舎	度会校舎					山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学				
24年度	132	122	25	18.9%	4	0	4	0	0	12	14	5	15	7	15	5	73	55.3%	26
25年度	120	114	23	19.2%	4	0	2	2	1	11	13	7	12	5	11	9	68	56.7%	20
26年度	107	105	17	15.9%	7	0	0	4	0	16	18	7	7	3	5	7	63	58.9%	16
27年度	110	105	22	20.0%	6	0	1	3	0	12	15	6	6	6	7	4	56	50.9%	22
28年度	99	96	15	15.2%	2	0	2	3	1	7	17	12	6	6	9	4	61	61.6%	15
29年度	89	88	5	5.6%	2	0	0	0	1	11	15	9	6	6	15	4	66	74.2%	15
30年度	79	75	20	25.3%	2	0	1	5	2	7	10	5	7	1	5	3	38	48.1%	11
31年度	64	62	4	6.3%	2	0	1	2	2	5	7	5	9	3	8	4	41	64.1%	12
2年度	51	51	13	25.5%	0	0	0	1	0	7	3	5	8	1	6	5	35	68.6%	2
3年度	59	58	7	11.9%	1	0	0	2	1	7	4	3	6	2	6	9	37	62.7%	11

*管外とは伊勢志摩地域の全日制の県立（10校）と私立（2校）と高専（1校）以外の高校・高専への進学者数
その他とは特別支援・定時制・通信制・各種学校への進学及び就職等の数

南伊勢町内中学校からの進学先割合



南伊勢町内中学校から伊勢市内への進学者数・進学率



【南伊勢高校南勢校舎】

- 8割の生徒が町営バスを利用して通学しているが、町の支援によって町営バスの無償化および下校バスの増便が実現しており、町内出身生徒の入学に大きく寄与しています。
- 南伊勢高校南勢校舎に南伊勢町以外の近隣の志摩市、玉城町、伊勢市等から入学した者は若干名です。
- 平成31年度から「保護者の転住を伴わない県外からの入学志願」制度を導入しましたが、志願者はいませんでした。また、平成31年度からの「グラペア・レラティブ留学」（県外や地域外の中学生が南伊勢町等の祖父母や親戚宅から通学する方法）の取組では1人の入学がありました。
- 南伊勢町を含む度会郡の中学校卒業生数は、今後も減少傾向が続きます。

伊勢志摩地域 中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）

令和3年5月1日 教育政策課調べ

		H 15. 3	H 30. 3	H 31. 3	R 2. 3	R 3. 3	R 4. 3	R 5. 3	R 6. 3	R 7. 3	R 8. 3	R 9. 3	R 10. 3	R 11. 3	R 12. 3
		卒業	卒業	卒業	卒業	卒業	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
伊勢市	卒業生数	1,510	1,196	1,170	1,087	1,057	1,083	1,126	981	1,034	1,000	1,029	988	899	969
	前年度対比			-26	-83	-30	26	43	-145	53	-34	29	-41	-89	70
	R3.3対比						26	69	-76	-23	-57	-28	-69	-158	-88
度会郡	卒業生数	552	383	369	358	308	315	336	313	322	292	303	265	268	277
	前年度対比			-14	-11	-50	7	21	-23	9	-30	11	-38	3	9
	R3.3対比						7	28	5	14	-16	-5	-43	-40	-31
鳥羽市	卒業生数	294	181	140	132	149	143	122	107	119	111	107	98	114	86
	前年度対比			-41	-8	17	-6	-21	-15	12	-8	-4	-9	16	-28
	R3.3対比						-6	-27	-42	-30	-38	-42	-51	-35	-63
志摩市	卒業生数	653	432	400	389	313	338	343	336	293	320	298	247	282	280
	前年度対比			-32	-11	-76	25	5	-7	-43	27	-22	-51	35	-2
	R3.3対比						25	30	23	-20	7	-15	-66	-31	-33
小計	卒業生数	3,009	2,192	2,079	1,966	1,827	1,879	1,927	1,737	1,768	1,723	1,737	1,598	1,563	1,612
	前年度対比			-113	-113	-139	52	48	-190	31	-45	14	-139	-35	49
	R3.3対比						52	100	-90	-59	-104	-90	-229	-264	-215
県内合計	卒業生数	20,468	17,458	16,811	16,489	15,777	16,212	16,046	15,871	15,549	15,405	15,220	14,700	14,343	14,077
	前年度対比			-647	-322	-712	435	-166	-175	-322	-144	-185	-520	-357	-266
	R3.3対比						435	269	94	-228	-372	-557	-1,077	-1,434	-1,700

南伊勢町内中学校卒業生数および小中学校在籍者数

	H30.3卒	H31.3卒	R2.3卒	R3.3卒	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
南伊勢町内中学校卒業生および小中学校在籍者数	79	64	51	59	55	56	54	46	41	43	54	33	42

協議のまとめ

南伊勢高校南勢校舎では、南伊勢町や地域の方々の支援を得ながら、地域創生アドバンスコースでの地域と連携した地域課題解決型学習や防災教育、地域のイベント等における地域の小中学生や地域出身の大学生との協働による地域活性化に向けたSBPの活動、部活動や遠隔授業等での度会校舎との交流・連携強化等の取組を進めてきました。

また、放課後の進学就職対策課外授業や、大学進学給付型奨学金の補助制度などによる町の手厚い支援によって、自らの将来に対する目的意識を持ちながら大学へ進学する生徒や地元南伊勢町内の企業に就職する生徒が増加しました。

一方で、地域の少子化が進行する中で入学者数を確保するため、こうした南勢校舎の活性化取組を、町内中学校や地域の協力を得ながら、町内中心に積極的に情報発信してきましたが、南勢校舎の入学者増加にはつながらず、町外からの入学者も数名にとどまっています。南伊勢町では、南勢校舎へのイメージは以前より改善しつつあるものの、高校進学に関して伊勢市内への志向が強く、さらに、子どもたちが希望する学びが多様化している中、現在の南勢校舎における普通科の学びだけでは十分な対応が難しいことも影響しています。

南伊勢高校は現在、南勢・度会両校舎あわせて1学年2学級規模の学校としており、南勢校舎ではおよそ1学級規模の教職員数で運営しています。こうした中、多くの教科の教員が一人であるとともに、部活動についても9つの部活動の顧問を12人の常勤の教員（養護教諭、実習教員等を含む）で担っています。また、他校においては複数人で担当している校務分掌についても南勢校舎では1人の教員で担当し、教員1人あたりの業務量が増加しています。こうした状況は、生徒の希望に沿った選択科目の設置を難しくするとともに、多様な部活動の実施ができないなど生徒の学校活動に制約が生じています。

今後、少子化がさらに進む中、子どもたちの多様な学びを実現し、将来の伊勢志摩地域を担う人材を育てていくことについては、南伊勢高校1校だけでなく伊勢志摩地域全体において、これからの高校での学びや望ましい学校規模と配置も含めた今後のあり方の協議・検討を進めていく必要があると考えます。

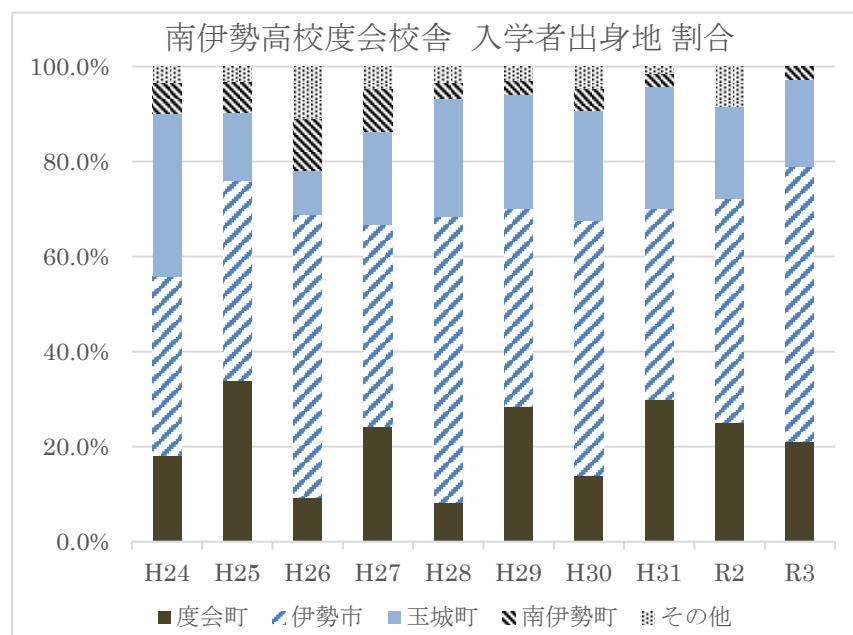
南伊勢高等学校度会校舎 活性化取組の総括的な検証

伊勢志摩地域の県立高校には、伊勢市内に普通科高校と、農業、工業、商業等の専門学科設置高校に加えて、鳥羽・志摩・度会地域に2学級規模の普通科、総合学科、専門学科の4校5校舎があります。また、伊勢市を中心に私立全日制および通信制高校、国立高等専門学校、県立昼間定時制等の学校も設置されており、中学生の学びの選択肢は少なくないため、度会地域内をはじめ鳥羽・志摩・南伊勢地域の中学生は伊勢市内の高校に進学する割合が高い状況です。一方、伊勢志摩地域の中学校卒業生数の減少は進んでおり、鳥羽・志摩・度会地域だけでなく伊勢市内の高校の小規模化も進行し、伊勢志摩地域における高校のあり方が議論されています。

南伊勢高校度会校舎は、入学者が地元度会町をはじめ、伊勢市、玉城町の出身者で9割前後を占めている中、平成29年度から令和元年度（平成31年度）までは2学級、令和2年度からは南勢校舎と一括募集で2学級80人定員となっています。令和元年度までの80人定員において、欠員が生じていましたが、定員を南勢校舎と合わせた令和2年度、3年度においても、度会校舎だけでは40人を切り欠員が生じている状態です。

南伊勢高校度会校舎への入学者の確保に向けては、地元の度会中学校からの進学率を高めるとともに、伊勢市など周辺市町からの入学者も増加するように活性化に取り組んできました。

活性化に向けては、南伊勢高校度会校舎活性化協議会が、平成26年9月に策定した「南伊勢高校度会校舎活性化推進計画」に基づいた取組を推進してきており、「進路支援プロジェクト」、「地域連携プロジェクト」、「学校広報プロジェクト」の3つを柱として、毎年、取組の実績を評価し、協議会で成果・課題を共有して活性化を進めています。



活性化の取組

○ 南伊勢高校度会校舎活性化協議会では、「進路支援プロジェクト」、「地域連携プロジェクト」、「学校広報プロジェクト」の3つを柱に、生徒のために以下のような様々な取組を実施してきました。

(1) 進路支援プロジェクト

- ・進学対策課外授業＝課外授業、オープンキャンパスへの参加、講演会実施など
- ・自己学習支援＝タブレットの活用
- ・基礎学力の定着＝基礎力診断テストへの補習
- ・公務員就職支援＝対策講座、インターンシップ
- ・資格取得の促進＝ビジネス文書実務検定、漢字検定、英語検定、
危険物取扱者乙種
- ・キャリア教育＝事業所説明会、事業所懇談会
- ・就職後ケア、求人開拓＝卒業生の事業所訪問、商工会議所協力による求人開拓

(2) 地域連携プロジェクト

- ・地域学習支援＝地域の史跡巡り、地域の産業体験、観光活性アイデア
- ・ボランティア活動支援＝地域イベント・行事、度会フェスタ
- ・施設の利用＝スポーツで小中学生委と交流・合同練習など

(3) 学校広報プロジェクト

- ・出前授業、度会中学校との交流、広報誌やHPでの広報

○ 進路支援のための進学対策課外授業は、全校生徒から国語・英語・数学について希望者を募り、町の支援で外部から講師を招いて、放課後に各教科週1～2回実施しています。近年は、英検対策に重点を置くようにしており、四年制大学や短期大学への進学だけでなく、検定合格にもつながっています。他にも1年次には四年制大学、短期大学、専門学校を訪問する進路見学会を学校行事として行い、2・3年生にオープンキャンパスの参加を促したり講演会を実施したりしています。

・進学対策課外授業参加人数

年度	H29	H30	R1	R2
人数	13人	7人	10人	7人
大学・短大入学者数	5人	5人	6人	1人

- 公務員対策講座は、近隣の専門学校の協力を得て実施してきましたが、それが困難になったことから、現在やり方を検討しています。また、公務員を志望する生徒が少ないという状況もあり、これに対応していくには、学力の向上など、幅広い取組が必要だと考えています。

・公務員対策講座参加人数

年度	H29	H30	R1	R2
人数	3人	4人	3人	0人

- 度会町役場のインターンシップは、令和元年度はインターンシップの一環で選挙ボランティアがあったため希望者が増えています。

・度会町役場インターンシップ参加生徒人数

年度	H29	H30	R1	R2
人数	3人	1人	9人	中止

- 生徒が、資格・検定に合格するように、課外授業を実施しています。令和元年度からは、進学対策課外授業とともに英検取得に重点を置くようにしています。令和元年度以降の英検合格者は全員課外授業を受講している生徒です。

・おもな資格・検定の合格者数一覧

	H28	H29	H30	R1	R2
ビジネス文書実務検定2級	6人	4人	4人	4人	8人
英検3級		2人	1人	3人	3人
英検準2級			1人		1人
危険物取扱乙種4類			5人	2人	3人
漢字検定準2級	1人	3人	2人	1人	3人
漢字検定2級	2人		1人	1人	

- 地域学習支援として、「地域の史跡巡り」「地域産業体験（林業体験・茶業体験）」「町の観光などに関するアイデア提案の場」を実施してきました。令和2年度には選択体育の授業で宮川でSUP（スタンドアップパドルサーフィン）を体験し、文化祭の際に、その体験をもとに、宮川を観光資源としてPRすることについてのアイデア提案を行いました。参加人数は以下の通りです。

・地域学習支援取組 人数

年度	H29	H30	R1	R2
地域の史跡巡り	－	9人	14人	－
地域産業体験	73人	50人	79人	68人
アイデア提案の場	－	7人	13人	47人
計	73人	66人	106人	115人

- ボランティア活動は、「地域のイベント、行事の運営ボランティア」「度会フェスタ in 鏡でのブース展示」に参加し、生徒は地域の人々と交流しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として中止しました。

・ボランティア活動参加人数

年度	H29	H30	R1	R2
人数	79人	50人	69人	中止

- 度会中学校との交流は、バレーボール部・ソフトテニス部による合同練習等の部活動における交流が中心です。令和元年度は度会校舎の体育館の改修工事があり、度会中学校に練習の協力をいただき、回数が増加しました。

・度会中学校との交流回数

年度	H29	H30	R1	R2
回数	4回	0回	13回	1回

- 学校広報プロジェクトとして、学校HPでの発信だけでなく、度会町からも広報誌等で度会校舎の生徒や活動を扱っていただきました。

・広報活動（度会町HP・町広報誌等掲載数）

年度	H29	H30	R1	R2
回数	8回	8回	8回	12回

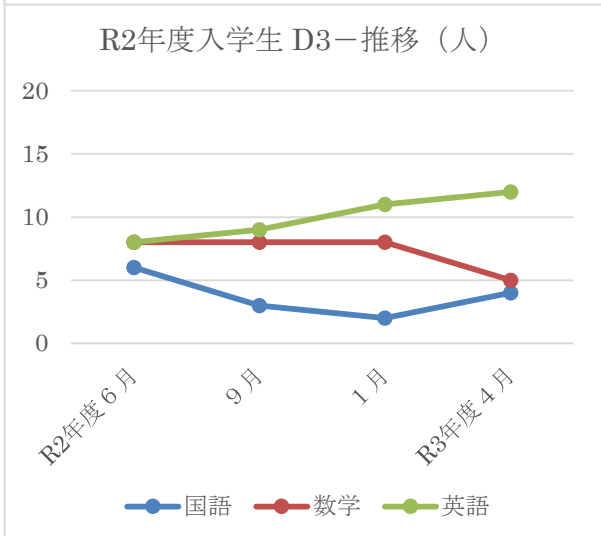
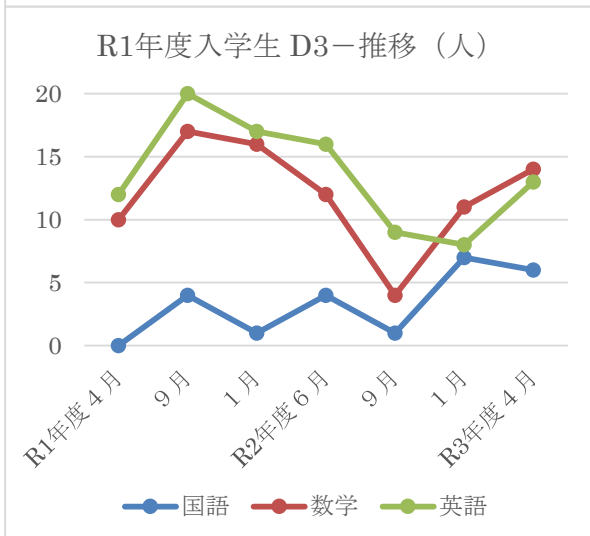
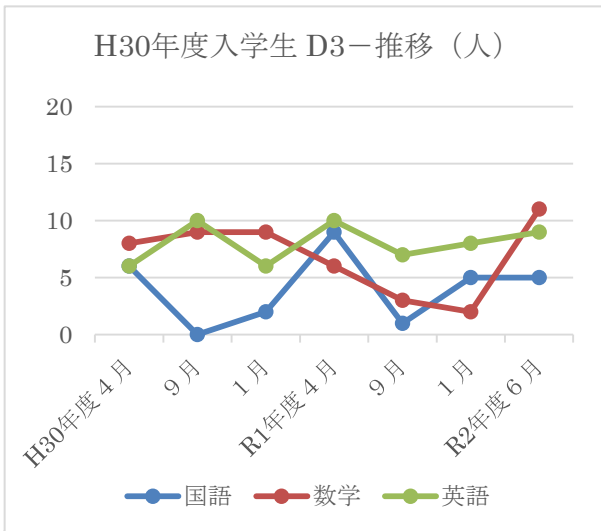
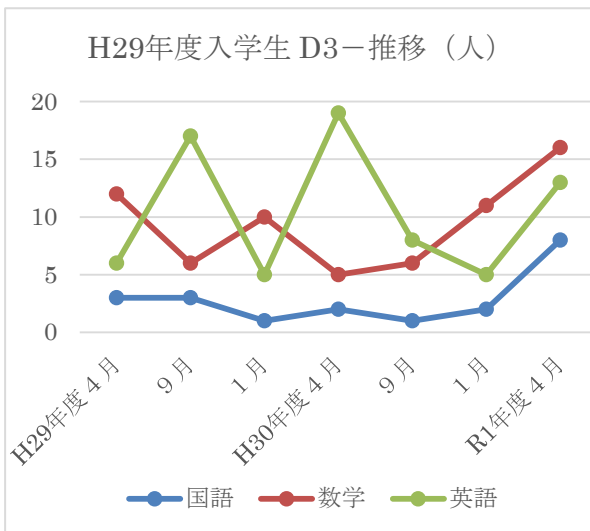
- 基礎力診断テストは、年3回受験しています。（3年第1回まで）基礎・基本養成レベル（D3-）の生徒を減らすことを目標に、前回テストでD3-であった生徒を対象に、全教職員によるテスト前補習を実施しています。また成績上位の生徒の意欲を高めるため、実施の都度、優秀賞と躍進賞を表彰しています。その結果、成績が大きく伸び、優秀賞の常連となっている生徒もいます。一方、3年第1回にD3-の生徒が増加する傾向にあります。

【南伊勢高校度会校舎】

基礎力診断テストD3－生徒数の推移

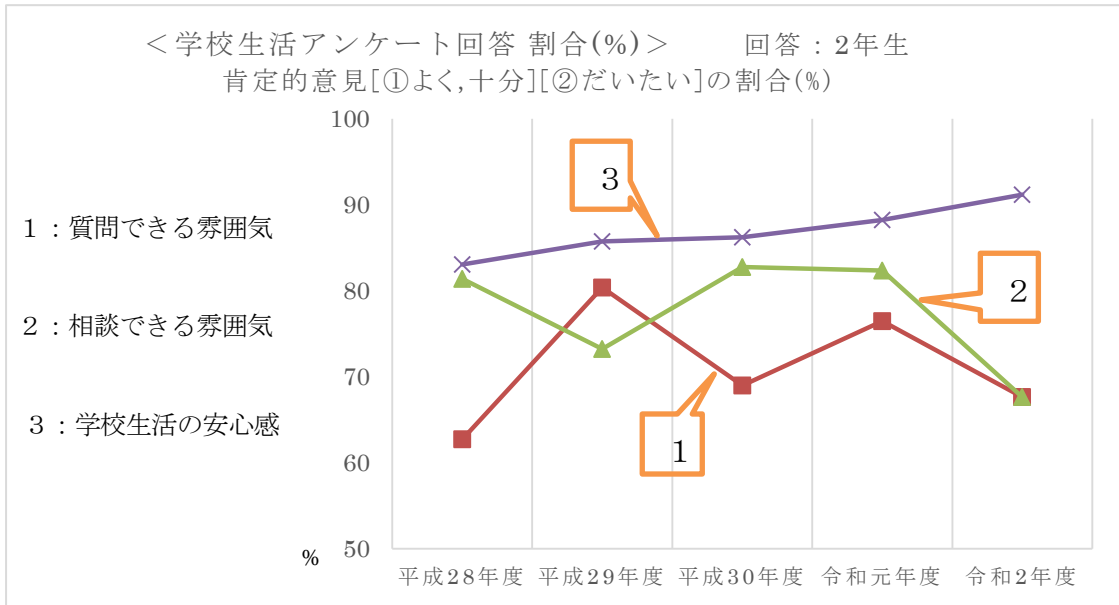
※()内は入学者数

	H29年度入学生(59)			H30年度入学生(39)			R1年度入学生(68)			R2年度入学生(35)			R3年度入学生(38)		
	国語	数学	英語	国語	数学	英語	国語	数学	英語	国語	数学	英語	国語	数学	英語
H29年度 4月	3	12	6												
9月	3	6	17												
1月	1	10	5												
H30年度 4月	2	5	19	6	8	6									
9月	1	6	8	0	9	10									
1月	2	11	5	2	9	6									
R1年度 4月	8	16	13	9	6	10	0	10	12						
9月				1	3	7	4	17	20						
1月				5	2	8	1	16	17						
R2年度 6月				5	11	9	4	12	16	6	8	8			
9月							1	4	9	3	8	9			
1月							7	11	8	2	8	11			
R3年度 4月							6	14	13	4	5	12	1	8	9



- 度会校舎では、多様な生徒が在籍するなかで、生徒一人ひとりへのきめ細やかな指導をしています。また安全安心な学びの環境整備に努めています。

・学校生活アンケート（2年生）



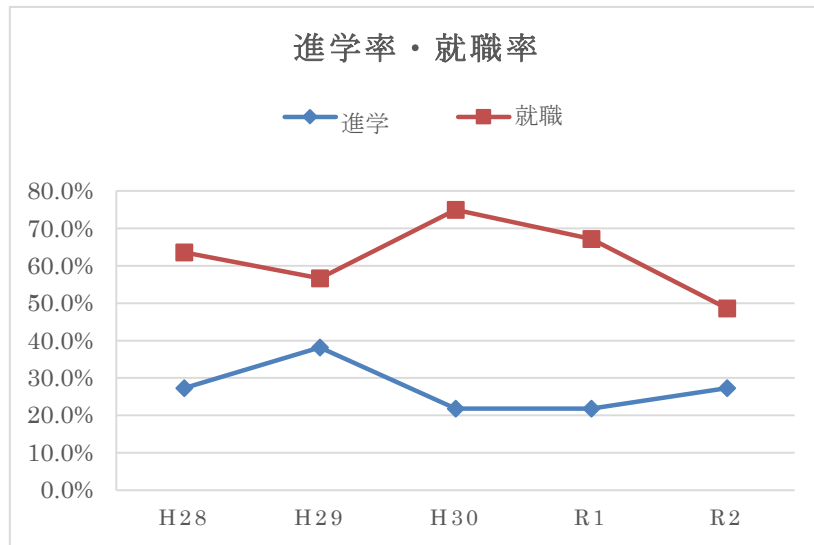
生徒の進路実現

進路実現の状況

卒業年度	卒業者 総数	進学						就職	その他
		進学 総数	大学	短大	専攻科 高専等	専門学校	その他※		
H28	55	15	1	2	0	11	1	35	5
		27.3%	1.8%	3.6%	0.0%	20.0%	1.8%	63.6%	9.1%
H29	60	21	4	1	0	13	3	35	4
		38.2%	6.7%	1.7%	0.0%	21.7%	5.0%	58.3%	6.7%
H30	56	12	4	1	0	5	2	42	2
		21.8%	7.1%	1.8%	0.0%	8.9%	3.6%	75.0%	3.6%
R1	58	12	6	0	0	4	2	41	5
		21.8%	10.3%	0.0%	0.0%	6.9%	3.4%	70.7%	8.6%
R2	37	15	0	1	0	10	4	21	1
		27.3%	0.0%	2.7%	0.0%	27.0%	10.8%	56.8%	2.7%

※各種学校等

○ 進路先については、進学は30%前後、就職は60～70%前後の割合で推移しています。



○ 就職予定者のうち、地域の担い手となる人材という視点で就職企業住所で分けると、地元の度会町、伊勢地域の就職割合は以下のとおりで、度会町の企業に1、2名が伊勢地域の企業にはおおよそ10数名が就職しています。各企業とは事前にマッチングも行っています。

地元の企業への就職人数および全就職生徒のうちの割合

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
度会町企業 就職人数	1人	0人	0人	2人	0人	2人
地域企業 就職人数	16人	11人	15人	22人	12人	11人
全就職人 数	29人	35人	35人	42人	41人 (公務員1)	21人

・伊勢のハローワークの管轄内の企業を「地域企業」としてカウント

・R1の公務員は三重県警

【度会町の事業所からの求人】

H28 2社
H29 4社
H30 4社 (二人就職)
R1 5社
R2 3社 (二人就職)

【伊勢管轄内からの求人】

H28 85社
H29 87社
H30 94社
R1 121社
R2 95社

入学者の状況

- 令和2年度から南伊勢高校として入学定員80名の募集となりました。度会校舎への入学者は、令和2年度は36名、令和3年度は38名でした。

入学者の状況

入学年度	入学定員	12月調査	入学者選抜(志願者/募集定員)			入学者数	欠員
			前期選抜	後期選抜	再募集		
H29	80	41	41/24	35/53	9/23	67	13
H30	80	41	40/24	15/53	2/39	43	37
H31	80	47	49/40	14/37	13/23	70	10
R2	※80	※46(33)	※39(32)/40	※5(4)/36	※2(2)/32	※50(36)	※30
R3	※80	※35(29)	※33(29)/40	※9(9)/46	※5(5)/39	※45(38)	※35

南伊勢高校は令和2年度入学者選抜より両校舎あわせて募集定員が80人となる。

※は両校舎あわせた人数、()内は度会校舎

- 南伊勢高校度会校舎への入学者を出身地別にみると、伊勢市、度会町、玉城町、南伊勢町が主な出身地です。

南伊勢高校度会校舎 出身地別入学者数 (人)

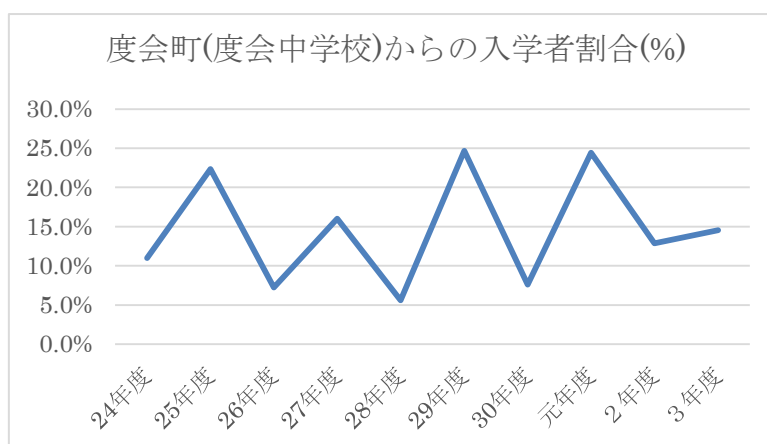
入学年度	度会町	伊勢市	玉城町	南伊勢町	その他	入学者数
H24	11	23	21	4	2	61
H25	21	26	9	4	2	62
H26	6	38	6	7	7	64
H27	16	28	13	6	3	66
H28	5	36	15	2	2	60
H29	19	28	16	2	2	67
H30	6	23	10	2	2	43
H31	21	28	18	2	1	70
R2	9	17	7	0	3	36
R3	8	22	7	1	0	38

【南伊勢高校度会校舎】

○ 度会町（度会中学校）から全日制高校および高専への進学者は伊勢市の高等学校を中心に以下のとおりの進学先となっています。南伊勢高校度会校舎への度会中学校卒業生の進学率を過去10年みると20%台が3年、一桁%が3年で、平均的にはおおむね10%台の推移となっています。

度会町出身者の進学状況（度会中学校卒業者の進学状況の推移）

入学年度	卒業 者数	全日制 高校・ 高専 進 学者数	南伊勢		鳥羽	商船	志摩	水産	県立					私立		伊勢市内高校		管外 その他	
			度会校舎	南勢					山田	伊勢	伊工	山商	明野	皇學	伊学				
24年度	100	97	11	11.0%	0	0	5	0	9	13	11	11	7	2	2	4.0%	55	55.0%	29
25年度	94	88	21	22.3%	0	0	4	0	9	8	7	6	6	10	1	11.7%	47	50.0%	22
26年度	83	82	6	7.2%	0	0	2	1	6	6	7	9	9	8	7	18.1%	52	62.7%	22
27年度	100	85	16	16.0%	0	0	3	0	6	9	11	8	9	5	2	7.0%	50	50.0%	31
28年度	89	78	5	5.6%	0	0	4	0	5	6	9	7	5	8	7	16.9%	47	52.8%	33
29年度	77	76	19	24.7%	0	0	0	0	1	7	7	8	7	5	3	10.4%	38	49.4%	19
30年度	79	76	6	7.6%	0	0	5	0	8	7	9	6	6	11	1	15.2%	48	60.8%	17
元年度	86	85	21	24.4%	0	0	2	0	6	8	8	9	6	5	5	11.6%	47	54.7%	15
2年度	70	65	9	12.9%	0	0	1	0	4	8	5	10	3	4	5	12.9%	39	55.7%	16
3年度	55	49	8	14.5%	0	0	5	0	2	9	6	5	0	4	0	7.3%	26	47.3%	10



伊勢志摩地域中学校卒業生数の推移と予測（含社会増減）

令和3年5月1日

		H 15.3	H 30.3	H 31.3	R 2.3	R 3.3	R 4.3	R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3
		卒業	卒業	卒業	卒業	卒業	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
伊勢市	卒業生数	1,510	1,196	1,170	1,087	1,057	1,083	1,126	981	1,034	1,000	1,029	988	899	969
	前年度対比			-26	-83	-30	26	43	-145	53	-34	29	-41	-89	70
	R3.3対比						26	69	-76	-23	-57	-28	-69	-158	-88
度会郡	卒業生数	552	383	369	358	308	315	336	313	322	292	303	265	268	277
	前年度対比			-14	-11	-50	7	21	-23	9	-30	11	-38	3	9
	R3.3対比						7	28	5	14	-16	-5	-43	-40	-31
鳥羽市	卒業生数	294	181	140	132	149	143	122	107	119	111	107	98	114	86
	前年度対比			-41	-8	17	-6	-21	-15	12	-8	-4	-9	16	-28
	R3.3対比						-6	-27	-42	-30	-38	-42	-51	-35	-63
志摩市	卒業生数	653	432	400	389	313	338	343	336	293	320	298	247	282	280
	前年度対比			-32	-11	-76	25	5	-7	-43	27	-22	-51	35	-2
	R3.3対比						25	30	23	-20	7	-15	-66	-31	-33
小計	卒業生数	3,009	2,192	2,079	1,966	1,827	1,879	1,927	1,737	1,768	1,723	1,737	1,598	1,563	1,612
	前年度対比			-113	-113	-139	52	48	-190	31	-45	14	-139	-35	49
	R3.3対比						52	100	-90	-59	-104	-90	-229	-264	-215
県内合計	卒業生数	20,468	17,458	16,811	16,489	15,777	16,212	16,046	15,871	15,549	15,405	15,220	14,700	14,343	14,077
	前年度対比			-647	-322	-712	435	-166	-175	-322	-144	-185	-520	-357	-266
	R3.3対比						435	269	94	-228	-372	-557	-1,077	-1,434	-1,700

度会町・玉城町中学校卒業生数および小中学校在籍者数

	H30.3卒	H31.3卒	R2.3卒	R3.3卒	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
度会町内中学校卒業生および 小中学校在籍者数	79	86	70	55	68	70	69	71	64	74	53	47	58
玉城町内中学校卒業生および 小中学校在籍者数	163	158	178	145	150	148	146	162	153	165	128	150	155

南伊勢高校度会校舎では、度会町・地域の方々の支援を得ながら、地域課題解決型学習、地域産業についての体験学習、地域機関との交流学习等を進めてきました。併せて、町の支援により放課後の進学対策課外授業や公務員対策講座なども実施してきました。こうした取組の結果として、一定数の生徒が度会町や伊勢地域に就職しています。過去3年でみると、H30年度には、全就職者42人中22人が地域企業に就職、同様に、R1年度には41人中12人が、R2年には21人中11人が地域企業に就職しています。度会町企業への就職もH30年度、R2年度にそれぞれ2人います。また進学においても、地元大学への進学を含め、進路希望を実現した生徒も多数います。また、度会町と連携する中で、町の様々な行事に度会校舎の生徒がボランティアとして参画するなど、度会校舎が度会町の活性化に欠かせない存在となる側面も生まれてきました。

併せて、度会校舎では、一人ひとりの生徒にきめ細かく関わりながら、中学校までの教育内容の学び直し等を必要に応じて行ってきました。その中で、学力が向上したり、資格を取得したりすることにより、自己肯定感が高まった生徒が多くいます。また、度会校舎への入学者の中には、「本校が第1志望ではなかった」という生徒が少なくありません。そのような生徒が、度会校舎で安心して積極的に学校生活を送る中で、学校に愛着を持つようになり、満足して卒業していくというケースが多数あります。これらは、度会校舎の重要な存在意義だと考えます。

こういった取組の成果を、学校・度会町の双方で様々な形で発信してきました。そのことが度会校舎のイメージアップにつながったという評価もあります。

一方で、これまでの取組を検証する中では、就職に直結する取組、中学生へのPRや、地元の度会中学生が度会校舎に興味関心を持ってもらうような連携といった面における課題も見えてきました。そうした個別的な課題が、少子化の進行と相まって、十分な入学者の増加につながらなかったと考えられます。

南伊勢高校は現在、度会・南勢両校舎あわせて1学年2学級規模の学校となっており、度会校舎はおよそ1学級規模の教職員数で運営しています。そのため、生徒の希望に沿った選択科目の設置や多様な部活動の実施等が困難になってきています。また、教職員数の減少により1人あたりの業務量が増加しています。そのような状況の中で、度会校舎が大切にしてきた、一人ひとりの生徒に対するきめ細かな関わりを維持する努力を続けています。

今後、少子化がさらに進む中で、「度会町を含む伊勢志摩地域の子どもたちの学びや他者と共生する力の育成をいかにして保障していくか」を、度会校舎がこれまで伊勢志摩地域で果たしてきた役割をふまえつつ、考えていかねばなりません。また、伊勢志摩地域の子どものための多様な学びの実現や将来の地域を担う人材の育成ということについては、度会校舎1校での協議だけでなく、伊勢志摩地域全体で、これからの高校の学びや、望ましい学校規模と配置も含めた今後のあり方について協議・検討を進めていく必要があると考えます。